

研究会の模様 (編集部)

目 次一

研究会 食料安全保障を消費者団体はどう考えるか ······(4) 生活クラブ生協共同購入に関する報告

一面的・複合的な遊佐町との産直提携を中心に一

司会堀口健治報告加藤好一コメント矢坂雅充

森林総研研究成果報告

放置され拡大した竹林を転換するためのモウソウチクの駆除

[時評] これは外交なのか・国益よりも私益優先?H2 (2)

☆表紙写真 りんご畑 (長野県安曇野市 編集部) 「農村と都市をむすぶ| 2019年7月号(第69巻第7号) 通巻第812号

これは外交交渉なのか・国益より私益優先?



考えの違いが露出しているのに…

きか、何が決まりまた意見の違いは何か、日米首脳会談の結果をどうとらえ評価すべメディア各紙の報道を見ると、五月末の

太平洋経済連携協定)と関係ない 月」深化も貿易の影」として「トランプ氏「TPP」(環 渉、早期成果へ加速」と一面で書きながら、三面では「「蜜 売られた日本」「八月・米先手に困惑」と日本の政権 あったように書きながら、二面 米貿易参院選以 記者会見があった翌日のある新聞の朝刊、 ることを指 トランプ大統領の発言を紹介し、 紙でも紙面によって記事の内容が異なっている。 困った状況を紹介している。 紹介すべきポイントに迷っているように見えた。 摘 している。 降に決着 交渉加速で一致」と一致点が では 他の新聞では、 日本の期待と全く異な (縛られない)」との 「もてなし外交 一面では 「貿易 共同 日日 交 同 側

にとどまると共 との日 るとしてきた。 は 苯 千側は、 本の立場が 過去の 昨 日本の国民に対してそう説明して来た。 同 経済連携協定で約束 年 声明である以 尊重され 九月の日 1米共同 たと説明 Ĩ 声 米国も尊重 明 Ĺ た内容が で、 T P P 農産物 が最 してくれ 節 大限 0) 関 囲 内 税

> 送りにしてしまったのである。 のであろう。それが、いずれも違いが分かるような発言 けてパーティーを楽しんだことが日米会談 ることの大きな違いが明瞭になったことが、 がありながら、 の違いを、 来表現されている状態であり、 ったように庶民には見えるのである。 きている結果である。それに蓋をして、 上記は、発言だけから見れば、「 ならない 1 放ったのである。 それをトランプ氏は トップが双方の国益を守りながら折衝するも それはい 大のテーマの一つであったはずである。 .ずれ・・・というスタンスで先 これこそ今回 T P P だからこそ外交交渉でこ すなわち、 同床異夢」などと古 |の交渉 なんて関係 大きなお金をか の主目的 双方、 表面 で詰め な

を認め合ったこと(一致したのは異なる説明をそれぞれの自国民にすること)

い成果も取れませんよ)、と伝えたようにみえる。今の時期に行うのは選挙の敗北に直結し、米国が取りた本にとって都合の悪い交渉結果になるのだから、これを安倍首相は、すべては参院選後に回してほしい・(日

安倍首相の要請を飲んだ。飲んだけれども、日本からのトランプ大統領は、妥結・公表は「参院選後」という

を期待 表に出せない、それは日本側からの依頼なのだ…とい 選を狙うトランプ大統領としては、 で確認したのだといっているように見える。次の大統領 られるはずであるとの表明をしているのである。忙し 本の広範囲 ともとは共和党支持層である彼らに対し、 よる報復関税などで大きな被害を受けている農業者、 でトランプ大統領は誇らしげに述べたのである。 買ってくれる、と帰 を日本側は 大きな譲歩を期待できると認識 たいように聞こえる。 ても欲しいし、 日程をわざわざとって日本を訪問 してくれ の市場開放を要求していて、それが受け 認めたと・・・ 日本が大幅に譲歩 早くそれを示したいのだが、 国後に、農業が主であるアイオワ だから、 L 日米交渉で成果をど 今回ではなく、 自国で公表すること して農産物を大い Ų . 日米首脳会談 農産物では 中 今回は 入れ 国に ì V 日 ŧ 州 に 月

や注文を付けることなく言 あることがはっきりしているのに、 ぱなしだが、いずれ妥協することを約束したのであ マンスに協力したのであり、 測するのは常識ではない それは 認め合っ ともあれ、 一恩を売られた」安倍首相の譲歩であろうと たのは、 お互 いに発言から見ると違 今はお互いに有利なように か。 いっぱなし それのみ返りがあると思 大統領が来日してパフォ それを否定し を認め合ったの 1) が大い 抗 言 iz 11 で 議

> あの首脳会談は何なのだったのか、 わ ているのである。

共同声明がない

大規

模な 会談

天皇 とを期待させる、トランプ大統領夫妻による被害者の家 族会との直接の面会である。 なかったか。 かもしれない具体的な行動は、 が目立っ のプレーも楽しんだようである。 国技館での相撲の観戦や大統領 の政治利用になりかねない たトランプ大統領の 北朝鮮による拉致、 É 拉致被害者との面会では 本訪 歓迎会のパフォ その解決に結び付くこ 盃 しかし唯一といえる 間であった。 の手渡し、さら] マンス ルフ K

場

ずいぶん選挙民はなめられたものである

受け取るのが一 これは私益の優先というものではないだろうか。 選挙に勝利するためにはそれでよいとい いたとしても、 選後は大幅な譲歩を日 たことが唯一のようにみえる。そしてこの意味は 表に出て来た結果は、 という安倍首相の要請をトランプ大統領が受け 般の常識であろう。それ 選挙に勝つためには今は伏せておこう、 本側がすることを示唆 今ではなく参院選後にしてほし が国 う姿勢である。 益に反して していると

H 2

研究会 食料安全保障を消費者団体はどう考えるか

同購

面的 、複合的な遊佐町との産直提携を中心に

ます。 堀口 きょうは、 加藤さん、 「食料安全保障を消費者団 お忙しいところをありがとうござい |体はどう考える

画の見直しに政府は入るはずですので、我々としては、 か」ということで、これから食料・農業・農村の基本計 マを各団体なりがどうお考えか、 踏まえてお聞かせいただ 実践や経 験を

このテー

す。 だいて、残り時間で討議 坂さんにコメントをいた き議論したいと思い いただき、その後、 最初に加藤会長にお話 矢 ま

> したいと思います。 貴重な機会をありがとうござい

す しくお願いいたします。 加 それではどうぞよろしくお願 藤 生活クラブ生協連合会の加藤と申します。 11 11 たします。

た以 おり、 が多々あるのですけれども、 購入に関する報告」ということで、今ご案内のあったと ますが、とりあえず表題としては 方のお役にどれほど立てるか、心もとないところは 緊張しながらここに来たわけでありますけれども きょうは、 後の状況とか、 基本計 このような機会を与えていただきまし 画の見直しとか、平成三〇年問題とい 酪農も含めて、 最初にいただいた四〇 「生活クラブ生協 非常に気になる問題 われ 共同



研究会出席者

(2019年5月14日 於:TKP新橋カンファレンスセンター新館)

숲 堀口 健治 司

報 告 加藤 好—

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 会長

側

 \exists

矢坂 雅充 コメント

席 服部 信司、 谷口 信和、小林 出 者 信一

ことになります。

すから、 の三月三一 生活クラブ生協連合会の現状 組合員が三八万四、 自己紹介がその次のページです。 年前 日現在となります。 の数字で並べてしまっ 四四人、会員数は変わってござ 図2 今、 7 決算 いますが、 が期なも

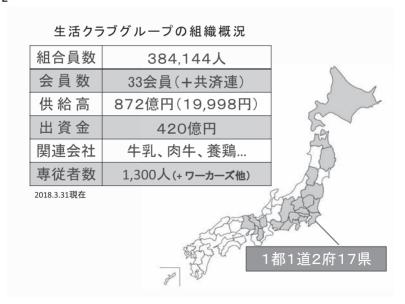
ŧ な話になろうかと思います。 うこともあるので、今さらながらにはなりますけれど 直提携の歴史が我々生協の共同購入のモデルであ ただいて、 谷口 0 後半はそこを中心とした話で現状の報告をさせてい 現 先生は特にもうご案内なのですが、 状の報告でやらせていただきたいと思い 決して安泰ではなく、 相当厳しいというよう 遊佐町 いるとい との産 、ます。

我々として重要視している取り組みの一つであるという 豚ということでして、 やはりこの話でやらせていただくということで、 植えは五月連休明けになろうかと思います。 りますが、 ウが来ているのでこれは多分二月ぐらいの写真で が秋田県という場所になるわけでありまして、 下に豚とどんぶりがある写真をつけましたが、 資料の表紙 この雪をかぶ (図1) は、 平 5 成三〇年問題も含めたところの これが遊佐町 た山が鳥海山 で、 の田園風景とな この向こう 米育ち 最後 ハクチ 田

図 1



図 2





11

.ませんで三三会員、

加藤好一氏 ラス、 会があるものです 地域生協というと三三 なるのですが、 正確にいうと三四会員と 共済に関する連合 V わゆる か 会

も幾つかあるので、 の単独の決算でいうと、 ですから三三になったということです。全体の共同購入 お話をする山形県の庄内地方の生産者が生活クラブをつ てきますけれども、 生産者の生協をつくったということがあって、 連結をすると一、○○○億円以上に おととしに一つふえていて、後段で 昨年度は八七二億円で、子会社 員です。ただ、後でも出

くった、

りでいうと、数字を丸めていえば、二万円だと四週だか ウルトラマンのカラータイマーが赤になったぞみたい えていくと、 安全保障というお話もありましたが、自給とか共同購入 のは二万円を切ったということになるのですが、 >意味・価値というものをどこに置くかということで考 これは月当たりの平均の数字になるのですが、 問題は、 そういった意味では危機感がございます。 括弧に入っている一人一九、 二万円を切るというのは、 私の考えでは、 九九八円という 週当た 食料 0

はなるという状態です。

ら五、 なと正直いうと思っています。 でも維持するということは、 だけでいってもだめですけれども、 いのですが、組合員の数が違うので、 万円を切ろうかとしている状況で、批判になってはまず く私の中にはあって、とはいえ、 るならば、二万円は切ってはいけ 給ということを偉そうにもし生協はいえるのであるとす ○○○円ですよね。これがぎりぎりなんです。 私は生協の務めじゃない 一般の生協でいうと一 ないというのが何とな やはり二万円を最低 単純に平均 の数字

出資金・ 関連会社 • 専従者数 地域 • F E C 自

議論 題も実は抱えています。 計基準でいうと、 我が生協 って、これは借金なのだと、 附してくれと、そういう状態です。ただ、これは国際会 ぐらい組合員がいますけれども、 これは返していかなければいけないので、今、 れだけは着実にふえてしまうんです。 ってくれと (笑声)。 出資金は四二○億円でして、 が取り沙汰されてい グループは一気に倒 これを資本に認めないという話 拝み倒してでも、 る部分もあって、 国際会計基準上でそういう 産になってしまうという問 うちの お願いだから 仕組 出資金ですから、 簡単にいえば寄 そうなると、 安でい 置 四〇万人 説が今あ うとこ てい

養鶏場となってございます。 いうと完全子会社で、 けれども、 に三工場をもってやっています。 牛乳で新生酪農という工場があって、 関連会社 肉牛は本当に厳しくて、 は **今**、 肉牛は 生活クラブとして経営をしている 生産に入っているのです 今、 養鶏は今日の状態で 千葉、 酪農も大変なんで 栃木、 長野

も後で話題にしたいと思い 後非常に重要になってくるだろうと思っています。 それから、もう一つ重要なのは、 、ます。 物流 関連の会社 これ が今

と思っています。

は実現をさせたいと。 称になっております。その皆さんと連携しながら、 れておりますが、 どもも一九八二年からそのような活動を始 働者協同組合形態で、今、その法制化が実現するかどう ラブの組織が、 してもこのワーカーズとい で進めているのはワーカーズ・コープという言 かで非常に緊迫した状態になっておりますけれども、 ーズ・コレクティブといっています。今、 専従者の数が一、三〇〇人。ワー 本地 、それは仕方ないと。とにかく大同団結してやるべ ない 図がありますけれども、 かということで、今、考えているところです。 大小といっても基本的に小なのですが、 労働者協同組合連合会、 意見の違 、う働 さ方の いがいろい 緑色のところに生活 カー 法制 ・ズとい · ろ細· 法制化を中 心めて、 労協という名 化を私として かに うの い方をさ ワ1 どう は 心 力 労

> いういきさつがあって、 ていたのですけれども、 入ってから別の生協グループが…別というか、 にもありますけれども、 中でコアな生協グルー。 ります。 東京、 神奈川、 関西の皆さんは プで、 私どもの連合会に加入をしたと 非常に元気なのがうれしい 埼玉、 岐阜県を飛ばして、 千葉、 長野 二〇〇〇年に がグル 考えは かな 関 似

あ

0)

をとってFECと。そして、ここに先ほど申し上げたワ まいたいと思いますが、Food、Energy、 カー その次のページですけれども、 地域の事業を展開しようということです。 ズの労働 • 雇 用 0) 問題を絡めて、 ここは早口で行 、Careの頭文字 その結果とし ってし

す。 題をより強く押し出したいなと。 しているのですが、 合人に向かって問題提起されたのが「FEC自給圏 でも立ち上がって、 た国際協同組合年で、 の内橋克人さんですけれども、 F 我々は ECそれ自体は、二〇一二年でしたか、 「FEC自給ネットワーク」という言 そこに労働 その委員長をされたのが経 全国実行委員会というものが日本 内橋さんが全国 雇 用の . ワ 1 クとい 済評 一の協 連 う問 定

三〇年までということで、これも国連が定めたSDGs 々も頑張ろうとい ずれにしても、 うのが趣旨であって、 内橋さんの問 題 提起に呼応した形で 今後は、

我

明をされておりますけれども、我々も一緒です。せていけるのかと。これは多くの方々がそういう意思表(持続可能な開発目標)の中に我々の実践をどう接続さ

もっておるということでございます。 調点があるのではないかと、生意気ながらそんな印象も 過ぎてはいないかと。 ちろんあるのですけれども、やや食品ロスの問題に傾き 間違ってはいないし、 ろが持続可能な生産と消費という項目になるのですが、 ますけれども、 七のゴール、一六九の課題があるということになって 食品ロスももちろん大事ですが、もうちょっと強 きょうの問題に絡めていうと、SDG 我々もそのとおりだという面 私の印象からすると、一二のとこ 持続可能な生産と消費とい いった場 s は は ŧ 11

重要品目と予約制

供給高と組合員一人当たりの利用高ということにな も、これは途中経過の数字を、せっかく先生方に集ま ていただいたので、 次のページですが、 ないかとみられがちですけれども、 おかげさまで、伸長率をみていただきますと供 一人当たりの利用高も一〇〇・一%で、 一四・七%で、 引っ張ってまい これは昨年の一二月までの数 前のページは決算数字ですけ りました。 組合員がふえてい 前年並み ただし、 公字で つ

いうのは我々からすると驚異的な実績です。で、下がるのですが、それでも前年から落ちていないとから、おっかなびっくり注文するということになるのから、おっかなびっくり注文するということになるのると一人当たりの利用高は下がるんです。きのうきょうると一人当たりの利用高は下がるんです。きのうきょう

い話だなと思っています。のへきれきまではいいませんけれども、非常にありがたら、ずっと低迷していた我がグループからすると、青天らの結果、まとめると供給高は一〇四・七%ですか

ことになります。その下にコメントをつけました。ここを読みますと、その下にコメントをつけました。ここを読みますということがあります。その一環だったのにやってきたということがあります。その一環だったのにやってきたということがあります。その一環だったのところの組合員数の伸長により供給高が伸長しているという番組の後、問い合わせがすごくて、ふえたというを担いる。ここを読みますと、ことになります。

鶏卵、 から運 すが、「安心よやくらぶ」という制度として今やってい ますが、昔は主要品目といっていまして、 これは付録みたいなものですけれども、その下が私と ては重要で、 これは大丈夫かなという不安も相当数あったので 豚肉、 前 に展開して、 牛肉、 あわせて、今はビジョンフードとい 鶏肉、 予約という仕 青果物を中心に三年ぐら 組みを導入し い前

思っております。
供給高の一定の底上げにいい意味で影響があったかなと、るのですけれども、これが定着をしてきたというのが、

まなよいですが、共同購入の基本方針と自給力をの次のページですが、共同購入の基本方針と自給力

て、ここでは四点を書かせていただきました。 けれども、そうではなくいきたいなということがあっ げがないよりはあったほうがうれしい ればいいのだといった共同購入ではなく、それは売り上 ジョンフードを中心として、何でもいいから買ってくれ 真面目にやろうということが私どもの基本であります。 ないのでそこは説明しませんけれども、この一 印刷物を先生方にお送りしていると思いますが、 基本は「生活クラブの消費材一〇原則」ということで、 面の重点課題と資料では書きましたが、先ほどのビ に決まっています ○原 時 則 蕳 を

自給力向上と重点産地―食料供給基地

内になります。 内協議会」、「遊佐共 ①の自給力向 モデルとなる重点産地をつくるということで、 から、 目で最 上と主産地形 庄内は、米と平田牧場の豚肉、 生活クラブの食料基地といった場合は庄 大の生活クラブとの 同宣言 成です。 ――これが山形の庄 地域でいうと、 提携産地は庄内で 野菜·果 地方

汁等々があります。

の一つの箒根酪農というところと酪農関係でおつき合い牧場系列の豚肉、それと、牛乳工場を三つやっている中は栃木で、同じように、米とF1の牛肉、あるいは平田をれから、「まるごと栃木生活クラブ提携産地協議会」

をしています。

をれから、「ぐるっと長野地域協議会」ですが、長野をれから、「ぐるっと長野地域協議会」で、これは 一番新しいところで今力を入れ始めているのが「紀伊 一番新しいところで今力を入れ始めているのが「紀伊 半島地域協議会」で、ここは米などはないのですが、今、 半島地域協議会」で、ここは米などはないのですが、今、 とにかく紀伊半島は果樹が中心です。桃とか柿とか、一 をにかく紀伊半島は果樹が中心です。桃とか柿とか、 とにかく紀伊半島は果樹が中心です。水とか柿とか、 ですが、長野

生活クラブの組合員が労働参画で行くということをやったがら、全国七一生産者と書いていますが、きょうここながら、全国七一生産者と書いていますが、きょうここながら、全国七一生産者と書いていますが、きょうここいずれにしても、今申し上げた地域を一つモデルにしいずれにしても、今申し上げた地域を一つモデルにしいずれにしても、今申し上げた地域を一つモデルにしいずれにしても、今申し上げた地域を一つモデルにしいずれにしても、今申し上げた地域を一つモデルにし

ています。これは組合員手弁当です。

ているはずなのですが、頑張ってくれています。る人たちが、接農というよりはもっときつい労働になっる人たちが、援農というよりはもっときつい労働になっらが、こちらはプログラムは立てますけれども、一切、き協は旅費から何から、北海道であろうが沖縄であろ生協は旅費から何から、北海道であろうが沖縄であろ

討途上なので偉そうな報告はできませんが、ぼちぼちそ けれども、 る定住者がそこに移住するということは考えられ ういうことも絡めていうと、 のは、 んなこともやっ しくすごいです。この後テーマとする遊佐町だけでも五 ○○軒の空き家があります。五○○軒いきなり農業をや それから、 定住してくれないかと。 福祉的な使い勝手も含めて、これは本当に検 「夢都里路くらぶ」で産地が期待してい てい 、ます。 産地の空き家の問題が今激 年齢は関係 ないよと。 ません そ る

以上が①の自給力向上と主産地形成の問題です。

遺伝子組み換え・種・加工食品・自給のなたね油

けれども、 うトレースをきかせる以外、 ② は、 頭を痛 遺伝子組み換えは 信頼関係とトレースの制度の問題しか対応と ているのは このゲノム編 嫌だという運 対応なんかできな 集で、 動 の推 これ 1 進です。 のです は

す。

ともわかりましたので、 ていこうかなと思っています。 か私はわかりませんが、 ろ調査をしてきた結果によると、手間と金がどうかかる ですけれども、この間、 てきたときに、「検査できないよ」という話が してはないと思うのですが、ただ、 今後、 やれば検査できるのだというこ アメリカに行 その辺を踏まえて研 この ったりしていろい 技 術 が最 あ 初

けない。それは農産物に限らず、畜産物も含めてそうだ話ではなくて、そこにこだわりをもっていかなければいいう問題を消費者としても、うまいとか安全とかだけのいる。以、この後のお話に主として関係があるのと、NO

明をしたいと思います。 工食品原料の産地開発と連携強化で、次のページでご説工食品原料の産地開発と連携強化で、次のページでご説 と思っております。

でも七 ですよね。輸入なので、それは国産とは当然いえません 上というのは、 料であるというところまで今もってきて 生活クラブは、 数え方の問題もあるのですが、 の国 産化を実現してきたと自負をもって 例えば食品添加物でいうと、 加工食品も含めて、 七割以 とりあえず、 います。 多くは輸入 上が 七 玉 産

な対応をしたということがあります。 まかしたつもりはないのですけれども、 うことで、 去年は天候不順 とトマトジュースということになりますけ オーガニックのトマトペーストを使ったりしながら、 最 初 非常に不本意だったのですが、アメリカ産の 国産加工用トマトですが、これ 小玉傾 (向で収穫量が上がらないとい 困ってそのよう いれども、 は 5ケチャ ッ プ

実は、九○年代にもこのような問題が一回起きて、うちの組合員は、「オーガニックだよ」といっているのだけれども、「アメリカ産の原料は嫌だ」とかいって買っているのですが、収穫が七~九月になりますので、またその収穫量がどうかということにも左右されますけれども、一一月ぐらいを目標に置きながら従来の規格に戻していきたいと思っています。

— 12 —

もに頑張ろうよという関係をつくっていくことに努力し の安定確保と作 も、いずれにしても、 もどうしようもないので神頼みしかないのですけ たよね。 異常というよりも、 だから、 天候不順と書きましたけれども、 そうい 付面積をちょっとずつでも う産地の協力・支援をお その辺の問題をどうするか、 加工用トマトでいうと、 もう普通になっちゃい 去年の 願 1 11 とい 国産原 からふや あ 、って ħ Ó 料 雨

いなと思っています。

恐々としています。 この飼料用米もそうですが、この制度はいつ猫の目でひ 題が激しいので、今、とりあえずそれでも何とかやって しかしながら、なたねも内外価格差というか、 いるということで、 我々がたった四○万人の力で何とか国産なたねをやって 国内の油 料安全保障とか、そういう観点からすると問 いるのは交付金の制度があるということですけ にやばいと思っています。 っくり返るかわからないということで、これまた戦 つ目がなたね 脂原料というのは風前のともしびですよ 油 努力はしているつもりなのですが、 で、 油の 自給とい 問題も長期的にみ う問 題 題があ あ れども、 るい 価格の問 ると非 る。 ね 々

から、 はもうみかん畑が竹やぶに変わっているとか、ひどい状 態になっています。 はとりにい かんの安定確保ということが課題です。 ですが、 最後に、温州みかんです。 うちの組合員はいずれも自慢の消費材なんです。 油もそうですし、みかんジュースもそうなのです ここがこけると結構やばいので、 高齢化で、 かないみたいな状態があって、 ただ、 斜面なので労働がきつくて、 ケチャップもそうですし、 みかんは山でなっているの とにかく原 特に西 日 生産者 一本で

場の 的だと思います。 うかということになるかもしれませんけ 牛乳なら牛乳で、 金額というのは、 利用しているかという比率になります。 利用人員率というの です。 もうね、 まうので、 だったのですが、それだと年度の途中で欠品になってし けです。 いただければ、こんな感じかということですけれども、 重要品目の供給実績 トルの瓶で、 人当たり利用高ということになります。 ビジョンフー てもらってい 次のページですが、ビジョンフードの供給実績(表1) 赤字の部門のところですが、 ですから、 豚 脳肉は みたいにしています。 っていたのが、 全国各地からかき集め 量を半分にしながらみんなで分かち合って飲 一、五七〇円ですが、これ 瓶はリユースしながら供給するということ ことしも、 ・ドは先ほど申し上げ たのですが、 平均で月一、 うちの組合員が四○万人いたときに、 単純に四○万人の数字で割ったときの は、 そんなことい 一〇〇人組合員がいたら何人が 本当は規格は九〇〇ミリリ Ш 五七〇円ですから。 豚肉は単価も高 「口のみ それでも量 たとおりです。 はある意味、 っていら か 一人当たり利用 いれども、 ん以外は使 ń が足 11 亚. のでそ みて わ 驚 田 n 11 牧 な

表 1

ビジョンフードの供給実績

* 実績数値は2018.12までのもの

	利用人員率(%)		一人当たり利用金額 (円/月)				
	2018	3年度	前年比	2018年度		前年比	部門構成比
部門	実 績	計画	刑平此	実 績	計画	(%)	(%)
牛 乳	50. 1	50. 0	-0. 2	821	834	96. 2	3. 8
*	32. 8	33. 0	-0. 2	871	841	102. 4	4. 0
鶏卵	58. 6	59. 0	0. 1	622	608	101. 1	2. 8
豚 肉	54. 7	55. 0	-0. 2	1, 570	1, 567	98. 2	7. 2
牛 肉	25. 5	25. 0	0. 5	704	674	100. 6	3. 2
鶏肉	40. 6	41. 0	-0. 1	694	707	96. 8	3. 2
青果物	64. 2	65. 0	-0. 8	2, 926	2, 924	101. 6	13. 4

心配だなと思っています。 現場と考えると、牛乳とか米とか、このあたりは非常に ないのは私は青果物であると思っています。 できないと、もちろん牛乳から始まって鶏肉とか一つ一 で信頼をつくる、そこに共感をつくるという共同購 員率の一番下、青果物が六四・二%というのは、 つの部門も全部大事なのですが、今、 しかしながら、ここで強調したい とにかく手を抜け 0) ただ、 は 青果物 利用 生産 入が 人

理をさせていただきました。の各部門の当面の諸課題その1ということで、乱暴に整次のページですが、今みていただいたビジョンフード大分時間をとりましたので、少し飛ばします。

う意味でここに並べました。 いずれの部門にも共通していることを①共通課題とい

☆ ①持続的生産に向けた生産基盤の維持・確立です。

ということで、この話はまた後で出てきます。いえば、自給飼料の推進と配合割合の向上を果たしたい③として、ビジョンフードのとりわけ畜産物について

(4は、ここでは社会的共通資本という書き方にしましてたが、共有財産とか、何でもいいのですが、そういうもたが、共有財産とか、何でもいいのですが、そういうもたが、共有財産とか、何でもいいのですが、そういうもなせていただきますが、山田先生の呼びかけで、「日本の種を守る会」というのができて、私も副会長をさせていただきますが、山田先生の呼びかけで、「日本の種を守る会」というのができて、私も副会長をさせていただいております。

いうのがあって、新潟、 のかもしれないのですけれども。片方で自治体条例化と ということで考えたのですけれども、 例ができる。これはすごいことだと思っています。 あったように、 に進んできて、この 議員立法で国会中心で種子法に ったのですが、最終的にうまくいかなくて、 その下に、種子法問題への対応とありますが、 今年度末で二〇都 四月号の山田先生の座談会報告にも 埼玉、 兵庫から始まって、 かわる何かできない 道 府県でこうい いいところまでい 詰めが甘い 当初は 着実

討会」というのが今農水省で設置をされていて、知財課持続的な利用を可能とする植物新品種の保護に関する検次に、種苗法問題があります。その下に「優良品種の

けれども、武士は逃げるわけにはいかないみたいな話いんじゃないかとか、さんざん周りからいわれたのですいうので、私もなってしまったのですが、こんなところ長さんに直々にお出ましいただいて委員になってくれと

やりまして、先週、

第二回目の会合が開

かれ

にまし

た

ばいけない。 者とどういう対応策ができるか えて、この先どうするのだということについては、 ランプさんがどう出てくるかわかりませんが、 れども、ちょっと気が抜け 今後、この戦いはどういう展開になるかわかりませんけ たってその説明は受け入れがたいということがあって、 これはもう一八○度違って、 あるいは共有財産という位置づけであるにもかかわら 反対だというだけでは済まない 道があるように、 確なFTAの交渉がどう行くの ん」とか、私も何度もそういわれたのですが、 水省が、「種苗法があるから大丈夫なんですよ、 ⑤ですが、メガFTA、 11 種苗法は端的にいって知的財産権の問題ですから、 . ずれにしても、種子法というのは、 まだ始まったばかりなので、 肉や乳製 品 さらにはこれ ないなと思っています。 の輸 種子法を廃止したときに農 か。 の検討をしていかなけ ので、我々としても生産 入量 既に農業新 量はめ 社会的共通資 から起こる、 いい ちゃくちゃ 報告は 聞 どう考え 日米の 加藤 初 ただ 8 3 報 1 さ 明 本

す。
次のページのビジョンフードの当面の諸課題その2で

部門別の諸課題

整見直 うのがあります。 す。これはどうい (2) 部門 し後の対応に苦慮していて、 別諸課題ですが、 うふうに田植えをしたら 1) 米は、 う 5 各産 の産地 V 地 ŧ 0) 同じで 生 か

です。 域性ということを我々としては考えるべきではない 域性で社会的共通資本としての種と同時に、多様性 おもしろくないという話を今してい ですが、 主たる産地が、 ニシキは嫌だ」とかとうちの 1) うことで議論を進めています。 後で話す遊佐町も、 ササコシ信仰とかといわれている時代で、 やはり品種はコシヒカリ系なんです。 山形、 最初は 栃木、 新潟、 組合員が言い始めて、 ササニシキでやってい 千葉、 て ちょっとずつ地 宮城とあるの 。それ 今 たん ササ かと • 地

、進行する離農状況は、特に関東圏は離農の実態がひ、酪農の生産現場は、ここに数字を書きましたけれど、三工場回していくのがめちゃくちゃきつくて、一方次に、②牛乳です。これは本当にきついです。酪農は、

ŧ

あったりして、 どん押し寄せているので、追い立てられるような状態も あるのと、 酪農は長野ですが、今、こんな状態で推移をして で四戸も減っています。 すけれども、 実績で、たった一年の実績 どいです。 ついですね。 といい数値だったのですが、 千葉がきつい 後継者がいないということと、 うち 半 一八戸の生産者がいたものが、この一 酪 のは、 の関係者はそれでも踏ん張ってい 農クラブというのは二○一七~一八 小さい声でいいますけれども、 自給飼料ができないということが 箒根というのは栃 似です。 新生酪農クラブは千葉 ですから、 都市化がどん 木です。 過去に 千葉がき ます 、ます。 年間 は で 信 ŧ 0 H

品が既に押し寄せているわけですけれども、そこに これをどうするかということになります。 るわけですけれども、ただ、 て対応しようということで、 などですが、 ト系の再開発を進めましたが、 それから、 いるつもりはなくて、 うちの牛乳工場はたびたび農水省からチーズで表彰 ているので、そんなに質の悪い 乳製品 日欧のEPAあるいは日豪のFTAで乳 0) 再開 どちらかといえば胸を張って 価 発は、 去年は 問題はチーズです。この 問題が出 チー とりあえずヨー ズとかヨー てきますから、 ものをつくっ グ 対 グ ル 11 ル 製 1

> したいと思ってい 高はアップしたということもあって、 てくれているので、 うわけに 平. 餇 は 11 いかない のシフトを今始めています。 、ます。 昨年 のですが、 度の実績でいうと、 そこそこ組合員も 何とかこれを維持 気に行くとい 鶏卵 供給

集中してやっ ですから、 のですから、 はもう日配品のような位置づけになってしまっているも るところです。 こから含めて考えて自給だろうということで対応してい も、とにかくそれは嫌だと。 国鶏種に席巻されて、 赤玉系の卵ですが、 やってきて、 携した国産採卵鶏の育種という問題です。 次に、 回つき合った生産者を切るわけにはいかない これも種の問題になりますが、 なかなか難しいです。 、これもここだけの話ですけれども、 もみじ・さくらという、 たほうが ただ、 いずれにしても、 七養鶏場あって、うちの場 ブロイラー いいかも 自給というのであれ しれ もそうなの ないというのです 殻が白ではなくて 国産採卵鶏で、 後 藤 ですけ 孵卵 何 合 場 は卵

それから、 スタインの雄の去勢牛を中心にやってきましたけ 次 **4** 牛 のページはビジョンフード るのは牛肉の生産者です。 肉です。 鳥インフル 畜産系のうち エンザの問 -の 当 生活クラブの牛 題 面 生産者で一 は 0) 諸課 気 が 題そ 抜け 肉 0) な 3 で は

③鶏卵ですが、

アニマルウェルフェア問題もあ

るの

ル

ようになってしまったとい 出てこなくなって、そうい F1をつけ 〇年ぐらい前に私はいっていたのですが、 昨今、 たりいろいろなことをしてホル雄というのは 雌雄 判別という技術がはびこってしまっ . う心配があるぞというのを一 う状況です。 案の定、 その て

っています。 角牛ぐらいしか見当たらないんです。これを今強化して という外国系の牛ですが、もう一つは、 これももともとやってい って、みんなで大切に食べていこうよということでや ⑤豚肉です。 率直に これは平田牧場で、 いって、牛肉はきついです。 たのですけれども、 日本で探すと短 アンガス

ている。

L D B

ーランド

かと。今はこれできついんです。 だ」という問題と、これは七○年代、八○年代の話です 問題にこだわったのは、 たわけですけれども、 生産者に提案したのはど素人の生活クラブで、 -を外に出しませんから。 ークシャーでいこうじゃないかと。これはばくちだ ス種、デュロ 平田牧場にバークシャー ック種、 ヒットしたということです。 さっきの米の ークシャー は止め雄でいこうじゃ 鹿児島県はバー 種ですが、 「ササニシキ 止め これ -クシャ は 種 雄 V 嫌 0 0 は

スペインへ行ったりドイツへ行ったりしましたが、 その後、 私も平田牧場とイギリスに行っ もっとおもしろい豚種 は たり、 ない 0 ポルトガルや かとい うこと なか

> てもいいだろうと思うのですが、それが一般的には受け たらサシが入るんです。 · うのは金華豚で中国豚です。これがうまくいって**、** てあるのは、 か成果は上がらなかったのですが、 ランドレース種、 豚肉でこんなにサシが入らなく デュロック種と、 資料でLDKと書

11 11 な

が、Wというのは大ヨークシャー種で、これだと少 ドレースと、デュロ くり上げておく必要があるかなと思っています。 なやつらの豚肉よりはよっぽどいいぞ」というものをつ れるわけですが、とにかく品質と食味の向上で、 もへったくれもないだろうということがすごく心配をさ 押し寄せてくるような世の中になってきたときに、 餌米がどうかという話はこの後しますけれども、 Aうんぬん、あるいは日米のこれからのFTA議論 価が下がるんです。いずれにしても、これも日欧 あって、 とはいえ、 加工原料は一般的な三元交配のLWDで、 金がかかる、 昨今の豚コレラは本当に頭が痛 ツ クを止め雄にしているわけです 原料代が上がるということが 製品で わけで Ø E P 餌米 で、

ところと長年いろいろやってきて、「加藤さん、 これも国 ⑥鶏肉です。「 屋鶏 種 玉 産鶏種はりま」とか 家畜改良センターの 兵庫牧場という 年間で

さん ○○万羽はなかなか難しい 一○○万羽やってくれたら、生産が安定するよ」、「蓮 に予算の問 数年前 2題でいわれることもなく、やれるかもし にやりとりした話ですけれども、 舫

羽を目指していこうと考えています。 羽まで落としてバランスを改善させて、改めて二〇〇万 存したりしていて、 なっちゃうんです。 り食っている。それで、 というのは余り食わないんですね。 ほぼ単独で二○○万羽やらなければい 万羽までは詰めたのですけれども、 っているわけではなくて、幾つか外にも出 さっきの「もみじ」とか採卵鶏のほうはうちだけでや ブロイラーは限られてしまっているものですから、 情けないのですが、 消費できないものを冷凍でずっと保 部位バランスがぐちゃぐちゃに 手羽先なんかばっか 日本人は鶏のムネ肉 けなくて、 今期は ているの 一六〇万 八〇

流とか、そういったことをやっていこうと思ってい どの時期につくるとか、 れを地域ブロックに分けながら、その地域はどの野菜を ありますが、これが「六八」だったということです。 年 最後に、 とはいえ、生活クラブがあるのは中心が関東です -間予約制の検討については、 六八のうちの三七生産者が関東・甲 ⑦青果物です。「全国七一生産者」 数量の問題とか、 野菜関係の予約をとる 信越です。 技術の経 と書 い ま 0 交 7

> とい 思います。 口 するのは .うのはもう試行錯誤で大変なのですが、これ やってみようということで、そのうち着手されると 四点セットをつくって、 だめでもいいから から

験

__

をクリアしていかないときついということがあります。 める物流拠点なども立ち上げながら、 とになってはいるのですが、 でうちももっていて、 足の問題がめちゃくちゃ 青果物だけではなく、 そこを最大限活用しながらやるこ 、厳しい 物流、 西のほうに青果物を一 ので、 とりわけ、 とにかくこの問題 物流会社を子会社 運転 旦集

れども、 かということについては、 はさっきもいいましたように、 最後に、慢性化した異常気象・災害対策ですが、 起こったときにどういう対応 シミュレーシ 神頼みしかないのですけ 3 ンを重ね ができるの

カッ ます。 すけれども、 それに沿って動きたいということです。 申しわけないことに半分残りましたが、 ションのときに補足をさせていただきたい とりあえず雑駁に話をしていきたい あとは と思いま ジディ ス

拠点 遊佐 町 との産 直 提

遊佐町との米を中心とした産直提携の話です。 これ からお話 しするの は 冒 頭 に申 上げたように、 遊佐町

図 3



遊 どころ(人の顔のおでこ)佐 に恵まれた、日本有数の米町 鳥海山からの豊富な湧水町

は、 れたちは偉い 顔 ると、「人の顔のおでこ」だと。 てっぺんの濃 ておりますが、 勝手にいってろという話で聞き流しています。 形をしていて、 ご案内のとおり、 い部分が遊佐町で、 んだ」みたいなことをいっているの 色がつい おでこの頭 今、 ている部分が庄内地方で、 地 図 脳のところなので、 山形県というのは 彼らがいうところ (図3) をみてい ただい です 人のの

けれども、 ラブは一 でやったのですけれども、 と食っていたわけですが、 との提携が始まりました。 出会ってずっとつき合ってきたということがあります。 つき合いをしてきたかということです よな」という話がありました。 そして、一九七二年、遊佐町農協との米(ササニシキ) その次のページは、 遊佐町にしても、 九六五年に、 設立をされて、 この時点では生協ではありま 平田牧場にしても、 その庄内地方の生産者とどうい 六八年に生協になったのです 「ササニシキはおもしろくな この時代は標準価格米と二つ ササニシキをありがたくずっ (表2)。 初期の時 生活

直後の時代で、 たわけですが、この ながらそうい 一九七二年というのは、 九七四 自主流通米制度を我 時 年 代は う 議 平 7 論が始 田 牧 ・ルドチ 以場と豚 にまり 減 反政策 17 まし の取り組みをきっ 肉 0 提携 が本格化 ンみたいなも が 始 はする ま

表 2

庄内地方の生産者との出会いは生協草創期

庄内地方は生活クラブにとっての最大の食料基地

1965年	生活クラブ誕生(牛乳の共同購入開始)
1972年	遊佐農協との米(ササニシキ)の提携はじまる
1972年	生活クラブ独自企画の消費材開発スタート
1974年	㈱平田牧場との豚肉の提携はじまる
1978年	牛乳工場・肉牛牧場設立 ⇒「生産する消費者」
1988年	遊YOU米(共同開発米)の取組み開始
1989年	「もうひとつのノーベル賞(RLA)」 受賞
1995年	国連「われら人間:50のコミュニティ賞」受賞
1997年	遺伝子組み換え食品(GMO)不使用宣言
2004年	遊佐町での飼料用米プロジェクトスタート

いから、 たちで開発するという路線にいったというのがこの 品を出す 入りの味の素みたいなものも平気で供給してい だったのです。 ういう場面に少なくとも組合員リーダーがどのようにか その次に、スロ ことで、 ら思えば何をやっているんだという話ですけれども つくるかと。 それから、 生産現場 牛乳 のですが、 はっきりい 石 油 牛乳工 に思 工 コ |] 場とか肉牛 九 3 七 ッ ガン的に · を馳 ク以 プ商品もたっぷりあって生活クラブは日本生 場にしても、 八年は生協になっ ってプッ うちのような小さな生協には出 せることができる組 牧場とか書 「生産する消費者」というの ツンきれて、 でか 肉牛牧場に 11 生協には)あって、 7 1 てあり もう全部自分 合員 周 日生協 しても、 Í 年 (を何人 す 丰 すが、 は商 \Box

存料 性ある組合員 加物を入れても 故が起きたからけしからん」というのではなくて、 が起きたり はありませんでしたから、 を 使わ ないとかとやって がいたものですから、 たのですが いい から、 この豚肉を食べる」とい うちの組 V 防 る物 腐剤 今につながって は 流 合員はすごくて、 がは、 使わな 案の定、 11 とか、 · う根 故

ということあります。

ですが、 それから、

これ以前は、

一九七二年、

生活

クラブ独

自

企画 協

0)

連の

優 消

うのですが。

・
うのですが。

・
うのですが。

・
うのですが。

・
大
に
と
し
に
も
、
に
は
の
は
ら
に
は
な
の
は
ら
な
に
と
を
や
っ
に
い
ま
す
。
で
す
か
ら
、
少
な
く
見
に
き
え
て
い
け
る
の
か
と
の
い
わ
り
な
が
ら
そ
の
こ
と
を
と
も
に
考
え
て
い
け
る
の
か
と
。

化できないかと。 だめですよね。一 すが、要するに、 ことではなくて、 ササニシキは嫌だ」ということで、これは我々がい ンドかというと、 そして、一九八八年、 生協の組合員が言い出したことなので 農作業の共同機―と― 定の食味を保ちながら、どうしてブレ ブレンドでいくのだと。まずい米じ 遊YOU米とい 共同労働を組 ・うの は、「もう った 織 p

えていくかということになります。 ような単味だって、そういう意味ではいい状態にはなっ 飼料用米がありますから、 ばいけなく てきているのですが、 ので、結構な量になってきましたし、この時代で考えた 全部早生だったら一軒一軒みんな機械をもたなけ 中生・晩生とい なりますけれども、これを分散する。 いずれにしても、 いう品質 これは完全に晩生になります 種があるとしたら、 その辺をどう考 昨今は 例 n Ž

たみたいなことをちょっと書かせていただいています。国連の「われら人間:五〇のコミュニティ賞」をもらっあとは、自慢げに、「もう一つのノーベル賞」とか、

米および飼料用米

というのは、また後で出てきますので。 そして、二○○四年、飼料用米プロジェクトスタート

さんしゃべりたいのですが、時間が来ているのでやめま資源逆流の考え方でやっています。この表だけでもたく「遊佐づくし」とありますが、これは独自の有機肥料をの地域に逆流させて持ち込んで、真ん中から少し右側にの地域のネットワークです(図4)。なたねなどもつくの地域のネットワークです(図4)。なたねなどもつくの地域のネットワークです(図4)。なたねなどもつくの地域のネットワークですが、時間が来ているのでやめま

らみたいなことになりかねないので、 ぐずになって、やる気をなくして、高齢化もしているか この先どうなってしまうのか。下手したら、 しが勝負だとかといわれていて、私もそう思い です。ただ、いずれにしても、 六年で五四・四キロですから、 均で約二 らいっても何ですけれども、 っているでしょうか、そこまで来てしまったということ 次のページは、 その次のページですが、この表を二○○六年ぐらいに 俵食っていたのが、今は一俵も切って、二○一 米 の消費量 とにかく日本人年間 一の推 もう五三キロぐらいにな 生産調整の見直 移です。 非常に心配です。 先生方に今さ 米価はぐず ますが、

図 4



カ産じゃ の二〇〇六年数値はぼろぼろですが、 生産者とみて、 わそうじゃないかと。 プッツンきて, ェクトを立ち上げたときに、 かつ、 国産もへったくれもないでしょう」といわれて、 っているけれど、 平田牧場の社長は組合員との交流会で、 じゃあ、 力 アメリカのトウモロコシを食わせてお ロリーベースでけれども、 何ができるかといって、 何いってるんだ。 これはひどいだろうと考え 飼料用米のプ 餌はア 自給率 米を食 ا ا ロジ は 玉

携の特徴ということで書きましたが、 生活クラブとつながっている田んぼです。 ミニマムアクセス米で、これはとんでもない話だという すけれども、 ことで、ここで怒りが増したということです。 その次のページです。 それと、一番下の米も半減 かつ、 いいとこどりではなくて、 白い部分があるというのは輸入ですから、 色がついている部分が遊佐 してい るのはそのとおりで 減反、 面的 遊佐町 • 複 転作 合 的な の闘 の提 町

六万俵弱という水準です。 六年の数字です。 ールあって、 次のページは、 ノ組合員が がこの 転作率は 遊佐町管内で全体で三、 遊佐の米を最大食べたのが一五 遊佐町の水田概況 三八%という状況の中で、 今は残念ながら一○万俵を切 (表 3) で、 万~ 生活 ヘクタ ク

提携ということを考えようということです。

0

表 3

遊佐町水田概況 (2016年度)

総水田面積	3,104.1ha	156,223俵	米の予約数量
項目	面積	数量	備考

生活クラブ向け転作作物(園芸作物除く)

転作率 38.0%

エルノフノド			
共同開発米	1,21 0.3ha	104,230.5俵	出荷数量全体の67%
酒米 (雪化粧等)	1.7ha	323.0俵	杉勇酒造
加工用米	34.8ha	210.0 t	青木味噌(44%)
大 豆	228.4ha	210.5 t	青木味噌・タイヘイ・カジノ ヤ・共生食品
飼料用米	371.3ha	419.1 t	平田牧場
なたね	3.9a	7.7 t	米澤製油
ソバ	49.9ha	62.1 t	おびなた
加工用トマト	0.4ha	0.3 t	⊐-≷
숨 計	1,900.7ha (提 690.4ha (主	携全面積) 食用米を除く)	総水田面積の61.2%

したが、この年度でいくと一〇万四、

数量でいうと、

今は一

○万俵を切ってしま

出荷数量全体

○○○俵という

字でありました。

減反との闘いとしては、

酒米、

加工用

す。これが一、二〇〇ヘクタールで、米と書いてあるのが食用米で、さっゃ

ども、この表の下がそのことになるのですが、共

さっきのブレ

ンド

米で

反・転作との闘

いと申

し上げまし

そういう関係を各地つくっていくということでやらせて としましたが、全体として、遊佐管内の田んぼを支える しています。それで水田面積に勘案すると大体 ながらつくってもらっておりまして、この面積で転作作 構造についてはみんなでやるぞということです。 これも量の問題ではなくて、気持ちの 生活クラブ組合員が最も共感している加工食品のう 一用トマトがわずかな量ですけれども出てきてい 総水田面積の六一・二%で、主食用米の消費量は落 できるところはやるよという産地 ここにある数字は全部生活クラブ組合員が消費を なたね、ソバ、 もう一つ強調したいのは、ここになたねと 加工用トマトをいろいろ協議 側 問題です の協力もあ 五.万 るの

うちもいろいろ頑張ってはいるつもりですが、っています。

数字が

違

てい

、ます が

こち

むだけです

4

7

水 0

 $\dot{\mathbb{H}}$

面

積

の六二%

な れども

つ

7

青果物に 淣 総

お

いては、 いては、 で書

£.

地

畑 心

ところ

V

7

ります。

スイ

カなどの

取

ŋ 砂 あ に Ít \Rightarrow

組み

が 帯

中 0

かに

11

か

年 で 作

と課題です。 環境保全型農業 その 次のペ ージ (表 は の 到 遊佐 達点 崱 環境保 課

顥

ます。 特徴 よとい 展開 に少し らが た表 うということで、 したが、 物である長芋やメロ 11 いうやり そし ただだ たということもあ 次 ひとこの 直 あっという間 0 0) て、 自の 近の うのが生産 0 い 基本的 育苗 蕳 丰] 7 数字で、 矢印 最後 しか使っ 11] はざっ ま 71 ゥ E E 橱 0 スをうまく

てい

ない

ので、 何

これ に使えな

効 0

か栽

培の若手

0 を有

生産

者 活

始

大生産

地 が 崩

な D

うことなのですが、 ノコなどとあわせて、 とは ア スパ ラガ 後 ベスやう 継 頑 者の 張 á つ 蕳 7 U など 題などが 11 ますよと \mathcal{O} 栽 培

は ij 水 カ は 耕 栽 非常 培 な にい のです 11 ŧ が、 0 土で が今できて つくると

表 4

全型農業の

到

達

游佐町・環境保全型農業の到達点と課題

、ます。

5 遊 プリ

て

非常に気をよくして がパプリカの

佐町

到達点

- ▶ 2005年、遊佐町全体でGMOフリ ゾーン宣言。
- > 2006年、開発米部会員全体 (500人)がエコファーマー取得
- > 2008年、共同開発米は全て減農 薬・減化学肥料栽培へ。
 - (堆肥散布、温湯種子消毒に加え、 原料にこだわった有機質50%肥 料「みどり特栽号」を使用)
- ▶ 2017年、山形95号による無農薬 栽培27.1ha (資源循環型肥料「遊佐づくし」の 実験)

- 温湯種子消毒や減農薬防除にとも なう、ばか苗病や斑点米カメムシの 多発や、中山間圃場における雑草 対策が課題です。
- 3成分栽培実験については、10年 間で約100haに拡大しました。しか し、取り組める地域が限定されるた め、実験は2016年で終了し、以降 は8成分回数以下の栽培方法とし て区分管理せず、生産者個々の判 断に委ねることとしました。
- ▶ カメムシ防除で使用するキラップ剤 の代替農薬がなく、ネオニコチロイ ド系 農薬の削減が課題です。

で、今、八成分、

慣

行栽培の半分、

これを標準に

にしてい

それから、

三成分栽培にチャレンジしようということ

るのですが、さらに一歩前進で、三成分栽培をやったの

ーンです。 一ンです。 一ンです。 一ンです。 一ンです。 一ンです。 一つのは、GMOオーケーという意味ではなくて、遺伝子組のは、GMOオーケーという意味ではなくて、遺伝子組のは、GMOカーゾーンという

員がエコファーマーを取得しました。くれている生産者のグループは五○○人います。この全米の任意の部会ですが、生活クラブ向けの米をつくって来の任意の部会ですが、生活クラブ向けの米をつくって

雑草の問題がやはりきついということがあります。 のですが、そんなことを今実験 クタールで、 七年から始めたのは山形九 を全部持ち寄って、 ちの提携生産者の、 学肥料栽培で、下にあるとおりの状況になってい そして、二〇〇八年、 課題としては、ここにあるようにいろいろあるのです そして、さっきご紹介をした とりわけ、 病気とかカネムシなどはついて回るので仕方ない 無農薬栽培自体はもっと昔からやってい 中 Щ そこで有機肥料をつくって、二〇 いってみれば食品残渣のようなも 間 共同開 高齢 五号による無農薬栽培二七 化もしている人たちで、 的にやっています。 発米は全て減農薬・ 「遊佐づくし」というう ま 減 す。 0) る 化

わせをしています。したり値段を違えたりすることはやめようという申し合いので、三成分の努力はするけれども、そこで区分管理別というか区別というか、そういうことにもなりかねなと、ダブルスタンダードになってしまって、ある種、差ですが、三成分は中山間ではできないんです。そうするですが、三成分は中山間ではできないんです。そうする

す。

でいるはずですけれども、ネオニコチノイド系の農薬のているはずですけれども、ネオニコチノイド系の農薬のているはずですけれども、ネオニコチノイド系の農薬のそれから、カメムシ防除で、全国各地、頭が痛くなっ

す。 ます。 継者、 就農者は き家対策の問題なども含めながら、 ジファーム」事業といっていますけれども、さっきの空 うことで、現在、六法人組織を立ち上げて、「チャレン ったのですが、それをもうちょっとまともにしようとい 組織が当初四つぐらい、ほとんどでっち上げのようにあ 組みです。ここは 緒にやろうよというネットワークを広めようとしてい 次のページです。 園芸とか花卉とか、どうしてもそうなってしまうと とはいえ、金がかかるという問題もあって、 担い手不足の問題に特に焦点を当てて、集落営農 ぼちぼち来るのですが、 読 遊佐町・持続的な生産に向けた取 んでいただければいい ちょっとでも農業を 稲作に 行かな 0) です

読

が

n

ども、 内·遊佐太陽光発電 という意味で、 が生活グラブの つくって、 ころをこれ ただけ そちら側に電源供給をする。 能 この二月から発電 生活クラブ組合員の一万六、 な地 からどうしようかと。 ば 電気の共同 今月末にセレモニーがあるのですが 域 社会づくりの到達点というの 所 のですけ という物すごく大規模なも |購入をしてくれていますけれ ń ども、 東北電 連携関係 000人ぐら 力に売るとと ば、 0)

餇 料 用米とその拡充

活

クラブとい

、 う 初

の試みをこの地域でやって、

「生活: つくる生

それから、

さっきもい

i

ましたが、

生産者で

[組合庄内親生会] という生協を立ち上げてぼちぼちや

ウモロ はもうやれなくなってしまったんです。 が、 ときたということも含めて、 ろうというので立ち上げ その次のページの表は、 · うものです。 制度がころころ変わるものですか コシはアメリカ産じゃ (図 5 たのが 亚 平 な 亩 -成九年 いか」 牧場 飼料用 0 1,6 とい から 米プロ これは悔 平 4 われてカチン が 5 成 ジ たの 何 六年に ク 11

図 5

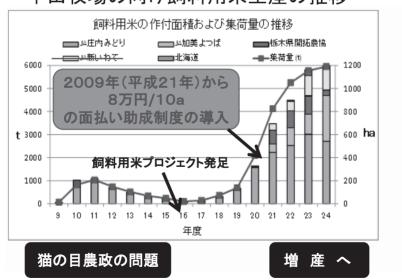
私と音

Ш

形

"県で、もう亡くなってしまっていますが

平田牧場の向け飼料用米牛産の推移



たい やして七九キ なことで、 けですから、 いうの が だと思い 場は二○○日齢で出荷となります。 Ŧ, くれて、 なんだよ」 米を嫌っていたのですが、 こいうの を含めて米が使えない 次のペ 気にふえたとい 制度でしたけれども、 うことを含めて、今後、 0 Щ な仕 米を原料とし 前期 ーステ 丛 ○○○円となっています。 現在は収量払いとセ が今は標準です。 0) そうこうしているうちに、 は、 1 事 ĺ ますけれども。 DП 後期で米を食わしています。 -ジは、 みたいな感じでい がの仕 私 ジに分かれていて、 \Box は 豚に足を向け 日本人平均一人で五三キロぐらいだっ 紘 方でしたけ ほとんど永田町界隈 した餌を 分験し さらに、 うのは当たり前ですけれども。 平田牧場の 先生とい てい 二〇〇日齢で七 そして、 こつくっ 検討したいなと思っています。 0 一〇アール八 くるのは、 かと。 て寝ちゃまず れども、 肥育期 ツ 最後は、 う人が トになって、 ろいろな先生方に 場合です たり 八万円がついてから 肥育期七七~二〇 現在は、 の手前 全農さん 1 当初、 してい 二一年度 次にもうちょ 一彼は 般よりはやや長 一万円という 七三. = (表 5)。 か 餌 最大で一 (僕と 日 ますが などは 授乳期 んだぞみ 加 11 参を 五.キ なか 0 藤 紹 同 先 五. ステ 前 平 华 L っ \Box 丰 Ó つ 0 食 \blacksquare が 面 は た \Box 万 Š 牧 払

表 5

飼料用米の給館の平田牧場の現状

And Introduction of the Introduction						
品 種	平牧三元豚				金華	豚
給与時期	肥育期 (77日 ~200日齡)		1頭当り	肥育		
	前期	後期	米消費量	前期	後期	米消費量
2014年 11月~	10%	15%	39. 5kg	10%	20%	49. Okg
2015年 8月~	15%	20%	54. 5kg	15%	20%	54. 5kg
2016年 8月~	15%	30%	73. 5kg	15%	30%	73. 5kg
2017年 4月~(試験)	20%	30% (79. Okg	20%	30%	79. Okg
課題 着実な達成 17万頭/10816 / 2018年						

- 飼料用米の給餌量・比率を向上させる研究 (他のステージ<授乳期・育成期>を含め)

飼料用米は平成30年後の 更なる重要課題

● コメ産地は転作を飼料用米に極端に特化させない(大豆など生産維持)

着実にやっていきたい。 ないのかどうか、そういう問題もあるのですけれども、 産者が行くということもあって、こっちは大豆だって欲 くということを、 ってしまいましたけれども、 にやっていこうということと、 いんだよといっているのですが、その辺は議論が足り い ず れにしても、 乱暴にやると何事もやば 自給量あるい いいぞとみるとワーッと生 去年は餌米 は 配 合割合を上げ いので、 の生産量 Ć が 减 実

再生エネルギーの取り組み

に無勢で押し切られるかもしれませんけれども。 私の本音なのですが、 も金がかかって結構大変です。こんなのをたびたびやっ しかない に金が落ちる仕組みでやる。とはいえ、これは いたらうちもつぶれてしまうので、着実にやってい 最後のペ 年度末までに五〇発電所ぐらいができる予定にして 五〇までいったら少し様子をみようよとい のですが、これが最大規模になりますけ リジ を超過して申し 月からやっています が、 今い 組合員はやる気満々なので、 、った庄 わけありませんでした。 (表6)。とにかく 内自然エネルギー 五 一億 地

表 6

非常に内容のあるお

あえずの報告にさせていただきます。

堀口

ありがとうございました。

(株) 庄内自然エネルギー発電 (2019.2 稼働)

電力管内	所在地	分 類	出力·設備 容 量	投資予定 総額
東北	山形県 飽海郡 遊佐町	太陽光	17.6 メガワット	50億円

● 生活クラブグループ融資
 資 金
 市民出資(生活クラブ組合員・生産者・農家個人・一般住民)
 画 公的制度資金の活用
 方 法
 ● 地域金融機関からの貸付
 ● 生活クラブ自然エネルギー基金の活用

話でした。

報告へのコメント

堀口 それでは、早速、 矢坂先生からコメントをお願

せるかという論点です。 て生産者を買い支えていく取り組みをどうやって定着さ の柱を立ててコメントや質問をしたいと思います。 てです。二つ目は、 一つ目は、 きょうお伺 庄内地域や遊佐での取り組みの展開につい 生活クラブの食品 いしたご報告に対して、 農産物をとお 大きく二つ

先駆的モデルとしての庄内・遊佐

しているということでした。 からの残渣などを資源として循環させるシステムを核に 食品製造業者との提携に取り組んできたわけですけれど げたいと思います。生活クラブは古くから農業生産者や まず、庄内地域での資源循環システムについて申 なかでも平田牧場の糞尿や、 提携先の食品企業など

ないでいって、今日ではそれらが縦横無尽につながる仕 制約の中で多くの提携先の食品企業や団体 確立していくことが必要になります。そうした地理的 できませんので、庄内地域の中での循環システムとして ただ、残渣や糞尿といった資源は遠くまで運ぶことが を一つずつつ

組みになったのだろうと思います。

るのでしょうか。 域に波及していくとすれば、 立された生活クラブ生協の資源循環システムが、 むとしても、 るわけではありませんので、資源循環システムを持ち込 地域には畜産や稲作などの提携先が集中的に立地してい いくことを視野に入れているのでしょうか。 たとえば、関東などの他地域での取り組みとして広げて ルをこれからどのように位置づけていくのでし 庄内地域で築いてきた資源循環システムのモデ 普及は容易ではありません。 どのような道筋が考えられ 庄内地 むろん他の 他の地 「域で確

体や食品企業は 員にとっての します。生活クラブ生協では、 業者そして組合員のネッ このことに関連して、 「消費材」、 「生産者 庄内地域の農業生産者、 トワー 提携先の農業生産者・農業団 と呼ばれているので、 農産物・加工食品は組合 クの展望について 以下で お尋ね 食品



矢坂雅充氏 材」、「生産者」と呼ぶこ

はそれに従って「消費

はさまざまな とにします。庄内地域で て利用され、 の生産者の中間原料とし さらに食品 それらが他 一消費材

と副産 者同 残渣 ぞれの地域を核とし 形親生会では 組織されて 間での交流を行っ 交流会や学習会などを開催 利用する静 材をつくる 置づけられていますが、 には親生会という消費材をつくる生産者の組織があ グガ生 ゥー こうしたネッ でいくというのではないところに生活クラブ生協 ているとい 「がありそうです。 |士が取引 るとい が別 生物の 協 クも - クが リュ 独自 単 の生産者 循環 Ċ できて おり、この組織をつうじてさまざまな消 生活クラブ生協との提携を重視する限られ 脈とも 食品] 、っても 0 様 0 シネッ トワ ども 食品 のも 平 的 チ 0 事 ェ ています。 -田牧場などの生産者間 11 な取引が行われてい いえるチェー いいいの 、ます。 ークの つきが の安全基準をクリ 業 のとみることができそうです。] て生産者の 1 11 有 不者をバ ウー 、えるチ ンの :機肥料 生産者が 生活クラブ生協 これ 形 積 かもしれません。 母体として、 クをつくっているようです。 して組合員 'n そして七つの み などの 成 エ ュ が 重 つくる消 バリューチ は生活クラブ生協 ンが一体となって、 ーンと食品 ねら] 商 チ 社の 生産資材とし 、ます。 れて Ź ェ くと生産者、] 0 事 .の重層的 生活クラブ生 てい がは 業目 ェ 生産者の 残渣. ンとし 地域親生会が います。 ーンを形 たとえば 年は、 標にも など な がそ なネ if 7 活 つつな 産者 を再 利 ネ 曹 ŋ, n 0 消 ñ ば ク 独 ッ 位 成 ッ Ш 材 協 用

て、

ルをやっ ながりを広 産者 同志がそれ てい にげてい るようにもみえます。 ぞれ くの 0) 製品や食品残渣などをつうじて は か なり 難 いジグソー

生

ル

生協 がその て自慢の消費材が地域全体でつくら ベル] るようです こうして庄 庄内地域 生活クラブ生協らしさになっ ンは、 0) 地域とつながっているということが、 組 合員 してい 他 は消 の生 内の食の資源循環システ の重要 協には、 、ます。 費財の質 なアピール、 この なか 量 なか 庄 一の両 內 真似 ています。 面で重要度を増 訴 えれてい Ĺ できな 付 求力になっ は 11 たバ かな る、 生活クラブ 組合員にと 11 取 1) ŋ 高 ŋ ユーチ てい 度な

で、

V

エ

徐 的 L チ 0 た庄内での な課題として位置づけられているのでし ェーンをつくってい では、 正攻法のようにも思えます。 々に広げていくことが、 資源 取り 循 環シ 組 心みを先 ステムに くことが、 食をめ 躯 的 留 な まら ぐる循 モデル 生活クラブ ず、 とし 地 環型社会づくり ょうか。 域 /のやや て他 0) バ 1) こう 長期 ユ

玉 内 自給力の ア ッ プ

重点課題 つ目の論 ました。 の含意につ は 点に移ります。 別添資料 重点産地での自給力向 てです。 $\widehat{\overline{T}}$ h まずその一 生活クラ i n k 上であると & 番 Ħ 協 Α は c 共 戸 玉 明 購 デ

H

な

加

I

一食品

は

生活スタ

イル

の変化

とともに食生活にす

0

り浸透しています。

生鮮食品だけではなく加工食品

0) つ

給力」 がでしょうか。 11 餇 ①生活クラブ生協が取り扱う加工食品の多くが国 ・ます。 料用 を七 れている食料自給力はどのように理解すればよろし て食料自給力という概念を用 ップをめざし 動原則がまとめられていて、 米作付 じょうか。 の向上を 割以上使用 農林水産省は食料の潜在生産能力を示すものと ク二〇一八し 面 謳われているように思うのですが、 農林水産省とは違う意味合いで「 穑 ま す。」です。 が年々拡大していることが紹介さ している、 では、 ②飼料自 具体 生活クラブ生 がいてい その一つが 的 な実績 ますが、ここで 1給力向上の とし 協 内 0) 国 ため 自 _-産 7 () 丙 ñ は 原 か 自 1 1 0 材 力 \mathcal{O}

か。

つくられる 加 す。まず加 二番目 は輸入原 スの 玉 入する人も このケチャ 原料 料 É E 工食品 ケチ 料 ヤ を国 が用 その のこだわ 11 ッ ると聞 ャ |産にして ッ プは生活 いられて ッ プを消費したいので生活クラブ生 玉 のケチャ プは希少な食品で、 丙 自給 りを象徴的に示して いています。 てい クラブ生 ップ、 く取り組み 万向 て Ŀ なたね 国産 0) 協の たいて 取 加 が挙げられ ŋ 生活 代 組 工 油 表 用 11 Z 、ます。 的な消 のケ トマ みか K クラブ生 0 } F んジ 7 11 から 協 ャ 費 7 ッ 材 ま ユ で

> 原 農産物を優先的 つうじて組 料 • 拡大されるわけです。 ŧ 産 合員 なれば、 の国産農産物 に購入するように訴えているのでし それだけ 玉 産 の関 凉 国 料 [産農産 心 0) を高 加 物 Τ. 8 食 0) 品 広く 需 0) 崩 要 しょう 国産 が を

タブ

ツ

が割高であっ があります。 を説得力のある形で組合員に示 組みは消 ŧ いただきたいと思い 5 とも先ほども 費材 ても、 加工食品の 0 単 価を引き上げることになります。 お話があっ 国産原料の ・ます。 国 産 原 加工食品にこだわる意義 たように、 料 化の訴 共感してもらう必 求ポイント こうい う を教 単 取

えて

る看 り組みが紹介されました。 また、 オレイン酸 平田 板のような食材に 牧場 いま一つの事例として、 0 が増えて味がよくなるとい 豚肉は生活クラブ生協 なっ 米を てい ます。 飼 料 飼料米作付け K 混 0) われ ぜることで 消費材を代 でい 拡大の 豚肉 取 実

と移 を、 論も出てくるように思われますが、 はメインの消 えられて作付けが可 しかし、 どのように展望しているのでしょうか。 限ら る準 周 備 曹 知 材の のように、 にとり 将来的 生産 能 か には が補 からなければ なってい 飼料用米は多 直接払 助 金 、ます。 に支えられ その辺を教えて 11 による農 11 生活 額 け な 0 てい ララ 補 補 11 助 助 金 3 金 だ支 う議 制 度

だきたいと思い

いうことについてです。 くっておられるのか、 最後に、「生産者」を買い支えていく仕組みをどうつ またはどうつくっていくべきだと

11

るようでした。

方がいいと経営者は言えなくなっている。」と答えまし が強くなっている。 とせき立てて生き残った経営だけを重視するような発想 なかなか得られなくなっている。 いろいろな理由が考えられますが、「酪農生産者が社 ている。 最近、 | げで所得が増えて経営状況は に孤立していて、社会に支えられているという感触 いずれの方からも「日本の酪農は、 フラン なぜなのだろう。」という質問を受けました。 スの酪農協や乳業の方と会う機 そういう中で後継者に経営を継い いいのに生乳生産が落 農政も酪農家を競争 **今**、 乳価 会が の引 だ が 슺 ち あ

支えられている」ということに留意しなければいけなく 支払いを受けてい 買うときに、その農業経営が再生産されるような価 いう法案が提案されたように、 食料法で生産費に基づく価格での取引を保証すべきだと 驚かれました。 そうすると、 心が高いというのです。 つまり、 V ずれ 、るかを気にかけており、 の方も フランスでは、 だから、 「信じら 消費者は食品 酪農家は ñ 最近、 ない」とい 農業生産 ・農産 消 新農業 費 物を つ 7 7

期

ると言われましたが、異常気象や後継者

不足などの

農業生産が減少して消費材の欠品

さきほどケチャップの原料調達が危なくなって

を知ることになりますね。

組合員がどのようにして農業

た事

態 心に直面

して、

組

合員は農業

の厳

状

る、

農業・食品に関わっている人には当然のことと思われて をすべての消費者がもっているわけではないとしても、 営のあり方にしていこうとするわけです。こうした認識 不満はあるとしても、 消費者に支えられるような経

せん。 どに参加したり提携先と交流したりして得た情報 的に生産者を監査する れているかがとても気になります。コアの組合員 組合員の農業・農家への関心の高さがどのように いか。そういうことを前提にすると、 のミールキット「ビオサポ食材セット」にも、こうした 会を提供していくのでしょうか。 に国産食材に親しんでもらって、農業への関心をもつ機 同購入の班活動などをとおして伝えているのかもしれま 、待が込められているのかもしれないと思ってい 簡便で健康的で国産原料を使った、 農業への理解があまりない 日本ではそういう感覚はほとんどない 「消費材ステップアップ 組合員には、 最近取り組まれ 生活 下ごしらえ済み クラブ生協 点検 どのよう 0) が自 っでは 形 てい 成

を自 それを支援するため 分 の問題として考えていくように の取り組みのありように関 になっ 7 11 心が るの か

生協 うな収 かなり なりません。 が安定的に推移するとは限りません。 消費を保証して生産 約制を検討しているという話をされましたが、 11 費材は国産であればい てもら この点に きません。 が消費 安定的 量 難しい 農産物 わなけ にならないこともありますし、 秄 関 間 そのようないろいろな制 は独自 農家に支払う農産物の価格をどうする ń 0 な生産と消費であることを組合員に理 連して、 ば 題です。 価 格 11 けない の安全基準 振 二点お尋ねした くら高くてもよいというわ 興を図るとしても、 先ほど野菜四点セット てです。 わけです。 ・をクリ 組合員が支払える消 約 ア し さらに生活クラ 11 と思い 年々の予約 0 てい 中での適 産地で思うよ 安定的 - の年 、ます。 なけ if 蕳 解 Ĕ ń 数 か L な ば ブ 量 な 予 は は

米の には生 米の 開 遊佐を訪 と生産者が作成 一発米の 以 市 前 俪 一産費 場 格を 稲 取 間 フェアトレードというテーマでゼミ生と一 に基 決 り組 場を横目でにらみながら、 8 温みや評 ることに 生産者 づく価格 した米の生産費 価 の方々に生活 にするのは難 な に こつい っていたと思い に関する資料を尊重 て話を伺 クラブ生協との 総合的に 11 ますが、 まし わけです 判断 た。 遊 共同 緒 ね 7 に

かをお

聞

きし

たい

と思い

・ます。

同 開 発 光の生産者グループと生活クラブ生協

な 共

常に微妙な問題で、 がどれだけ購入してくれるかわからなくなります。 切り離さざるを得ません。 がら合意できる価格を探っ の購入量確保と生産者 材の取引条件の決定は 苦労されているとは思いますが の経 価格を引き上 てい 営の持続性確保 理 念的 まし な問 げ ń 題 とあ ば 0 両 <u>T</u> 組合員 Ś 一は非 袓

員

おまかな考え方を教えていただければと思い

、ます。

に対してどのような注文をつけて 組織をはじめとする外部組織 このように直接的 を介して調 や団体から調達されているわけではなく、 に広がってきましたが、 11 るように思います。 クラブ生協は いま一 てです。 つは、 | 生活クラブ生協と生産者との提携関 達する農産 広く日本 生産者との提携や農業全体との関係 な提携組織 そこで年度末に策定される基本 物も の農業に 消費材のすべてが提携先 増えてい との連携をつうじて、 だけではなくて、 ŧ メッ いこうとされてい ると セージを伝えてい 聞い たとえば全農 てい 農協 一条は 、るの 共販 す。 企業 着 実 0

それ 供 二万円分は生活クラブ生協を利用することで生産者 から蛇足のような質問に 0 い が 二万円ぎりぎりの 7 コメントさせてくださ ところに なります 留 出まっ が、 多く 0 人当 11 組 、るとい ったり

は

0

を支えながら、

それ

以外の食材は量販店などで

購

岚

が希薄な日本の場合には、 異なって迫力に欠けるかもしれませんが、 という展望は、 組合員の部分的な支援が集まって農業が支えられ 通のことで、それで組合員 たいという思い でまかなってい いるわけです。 くことが現実的 自分の所得の一部ででも信頼できる生産者を支援 この点につ さきほどのフランスの消費者の姿勢とは 、る組 で生活クラブ生協を利 すべての食材を生活クラブ生協 いてもご意見を伺えればありがたい にな取り組みであるように思います。 ||合員はごく少数では 、このような消費者を増やし (数が増えてきたのでしょう。 1用するのはごく普 な 農業 いかと思 への関 0) でい 消 11 で 7 心 < ま

以上です。

趣旨のお話 遊佐型でやってきたある種耕 堀口 他地域も含めてどうい まず、 それでは加藤さんからお願 だと思い 番目 ました。 にです が、 展望をもつのだとい 最終的 畜連携の 1 なご質問 します。 モデルを、 は この 庄内

ないですから。

親睦的な関係を超えた協同の関係

満々のつもりでありますが、つき合いの歴史はとにかく確かに、庄内でこれが成り立って、我々にしても自信

今は れつの関係を、 流 町ですから、 けれども、今となれば年間一七万~一八万頭 き合ったころは うことを常々議論の対象にしてきて、それが庄内地方は ますが、そうではなくて、 うな組織はありますけれども、 ていただきましたが、 生活クラブとの提携生産者の形で、親生会のお話も出 大ブランドを築い えていないなと、失礼な言い方をあえてさせてい 一番熱心であったのと、 番 ディ 本社 1 スカッションがあって、 酒 それ 耕 囲に あるいは協同の関係をどうつくるかとい 畜連携 <u></u> Һ て、そこから出てくる豚尿は半 ありますけれども、 遊佐町 ・シも その地 が成り立ちやすか 平田牧場は、 お互いい 11 ない の米どころと平田 域 親睦団体の域を多くは 地 多くの生協にもそのよ 養豚業だったわ 域で生産者 い意味で持ちつ持た いずれ 私どもが最初 べった。 の養 にしても隣 それ 0) 牧 豚 けです ただだき 場 0) は

問題 かもし を強固にしていく、 九州まで 一方で、先生からお話があっ ň 歴史上 全国 運ぶわけにはい ませんが、 庄内地: 展開 0) 間 方を中、 は当然したいと思っていますけれど それが それが可能であったという立 人間 かないとい 心とした生産者のネッ 好循環, 問題ももちろんそこに絡 たとおり、 したということで、 うことを含めていえ それをまさか } 地上 ゥ 0) ク

というのはおのずと限界がありますから、そんなはなば にないですよね。しかも、 く。そうはいいますけれども、 くっていくかということを一つの柱にしながらやって ていただきましたが、そこは庄内モデルという言い 域というのは、 た昨今の状況からいくと、耕畜連携の 域でいろいろなことを考える。 までも一つのモデルであるという認識で、それぞれ メで持久力向上と産地形成の幾つかの産地の話をさせ ますけれども、複合的なそういう関係をどうやって ただ、庄内をみて、全てということではなくて、 かなと思います。 栃木もまあまあできてい どこでもできるというのはさすがに無理だなと。 打ち上げ花火ばんばんみたいなふうにはいかな うちでいっても限られているんです。 . る。 四〇万人の組合員の胃袋 こつこつやっていく以 長野も、 ただ、餌米などが出 関係 、さっきこの が成り立 方を IT き あく 0 レジ 0 0) 地 量 外 V つ 地

て対応しているつもりです。

複合的な提携関係をベースにした自給力

ースなのかとか常に聞かれてしまうので面倒くさいのでも、カロリーベースなのか、金額ベースなのか、重量べもりはありません。ただ、自給率も大事なのですけれどありましたが、そんなに入れ込んだ言い方をしているつ

み食 す にそこの中に複合的な可能性を広げてい 11 場合は目標はそこなんですよね。 と勝手に解釈してやっているわけですが、モデルと うつくるか、そこがその地域との提携に ていけるかという観点に立つと、複合的な提携関係をど の地域とつき合ってい いのは産地にとっても当然だとは思うのですが、 いが、ただ、ご質問 いじゃなくて、どうやったらお互い の後の話と重なりますけれども、 く場合に、 取引の額が多いほうが いいとこどりで、 けるかなと考え おける自給 が持続的にやっ いう

す。 でまとめて、 その一〇〇年後に、第二次大戦のさなかでしたけれど 今でも生き残って立派な生協だと私は思ってい 組合というのがイギリスで一八四八年に設立をされ いうか、厄介です。生協の大もとは、 そういう原料を含めて、 う問題だけではなくて、 それから、国産原料と価格というのは、 コールが その中に書いている一文が私の中にありま |協同組合運動の一世紀||というレポ ピュアな原料 価格との 問題は非常 ロッチデー 素性がわかる、 玉 産原料とい にシビアと ますが、 i て、

デールは貧しい労働者に純粋な小麦を供給して食べてほすが、コールがその中で何をいったかというと、ロッチこれはいいわけがましいので余りいいたくはないので

例えば、遺伝子組み換えが嫌だとか、この農薬は嫌だ題というのはいまだに我々の中につきまとうんです。て、貧しい労働者は買うことができなかったと。この問てれをやった。ところが、ピュアな小麦は価格が高過ぎしかったと。それで、生協の店の隣に製粉所もつくって

うのは、 ちだってできないことはないけれども、それはなと思う それた気持ちはないわけですから、 れではだめなのだと。 すが、どこかがそういう一つの形をつくっていって、 協だ」とかわけのわからないような言われ方もされて、 高いものになる。それで、「生活クラブはお大臣様 とかいって、やればやるほどコストがかさむので、結局 もしかしたら組織化できていない生協なのかもしれませ 「お大臣様で何が悪いんだ」みたいなことになるわけで 例えば、 だから、 遺伝子組み換えにしても、 やらない。とはいえ、 ただ安かろうでいくならやり方はありますよ。 ずれにしても、 率直にいって頭が痛いです。 結局はそれを理解してくれる人たちしか 遺伝子組み換えが嫌だとか、この農薬は嫌だ 別に天下を乗っ取るなんていう大 そうい . 問題提起ができていく。 う原料と価 いわけがましくなるので 食品添加物にして 常にその闘 格 0) 間 いとい 題とい 0 う 生

の話もしましたし、加工用トマトの話もしましたけれどその一方で、国産とかということで、きょう、みかん

しまったという面もありますけれども。っても、買わないんだから。そういう変な生協になってピューレの原料で、「有機なんだからいいだろう」といなってきて、一方で、組合員は、米国産の有機のトマトも、どんどん供給も生産も追いつかないという事情にも

原料と価格問題

けれども、頭が痛いですよね。価格というのは、どこの生協だって一緒かもしれませんくどく同じ話になってしまいますが、この原料問題と

ね。 ŧ う話 めていろいろやったりしているつもりですが、あるい こに規定されていて、 くれと、 お願いだから、 いうことですが、 それから、重要だなと思ったのは、 うちでいうと飼料用米となたねの問題は をする以 国会議員先生に、「お願いだから頑張ってね」とい 神頼みでお祈りする以外にないわけですけれど 外にないのですが、 財務省はもっとほ 率直にいって、 ですから、 下手 展望は、 かのところを気に 決め手はない な 補 助制 ロビー活 ないですよ とり 度の展望と 三動も含 ね

え、 にしていっても、 ゲノム編 心配 集の なの 収量アップ、 間 は、 題と絡めていうと、その 飼料用米でいうと、 コストダウンをどう図っ 間 伝子 題を抜 Z

年するんです。でも、

平地と中山間では全然違うし、

も限らないし、つくばあたりではもうそういう研究 ん上げるというような遺伝子操作をされたような米 子組み換えとゲノム編集の問題を絡めて、 方であるのですけれども、 るさいところから何とか頑張るといっていて、それ 円補助してくれれ がありますが、 んでいて、 「餌だからいいだろう」みたいな話で出回ってこない い くか。 そのことは今すごく懸念をしています。 もう実用化の手前だという話まで聞 最大一〇万五、 ば 何とか頑張 の生産者の経 私が心配しているのは、 000 れると。 験値からいうと、 픤 生活クラブもう .の補 収量をどんど 助の仕 11 てい が進 が、 遺伝 は片 八万 組 る لح 4

がってきている状況があって、 それは言い過ぎかもしれませんけれども、それくらい ども、下手すればまた一万円を切るかもし のですが。そして、今となれば、 すけれども、 ば遊佐米だって、 ですが、支えるなんておこがましいことはなくて、 万四、 いでした。 それから、「消費者が支える」というおっ 原価 !のデータとかを細々出 〇〇〇円で、 一俵一万二、〇〇〇~一万三、 当時はどこの米もそのくらいだったと思う 私が担当したときは、二〇年前の話 例えば、ことしの作況も絡 もちろん再生産可能と してもらって、 一万三、〇〇〇円とか れない 000円ぐ しゃら 議 とか、 記けれ 論 例え れ方 は 毎. で

それはあり得ないだろうとか。 それはあり得ないだろうとか。 一なっていないか、

としてやろうと思ってい とでやっていかないとまずいよな、 は消化し をつけたら間違いなく消費量は減りますから、 する努力はするわけですが、 たらどうするのかと。片方で予約で、 合って、 さらにいうと、 なければいけない。 納得して、 再生産可能を優先して、 勝手に生協が決めるとかではないこ ・ます。 結局、 ただ、きちっと丁寧に話し 生産者の希望の というのを行 みえる量 消 費 やは は 量 動 裏 が り量 支え 値 減

(笑声) ……その話はいいですが。 (笑声) ……その話はいいですが。 をれから、根本にあるのは、価格問題で、例えば、東 それから、根本にあるのは、価格問題で、例えば、東 京大学は農学部の中に飲 な ことをだれ りょっちゅう は 一般 で まっと で かって いるのは、価格問題で、例えば、東 それから、根本にあるのは、価格問題で、例えば、東

村と都市をむすぶ」ですけれども、 取り入れてきた。 出てきて、 度成長期に「金の 抽象的な話になりますけれども、 明らかに意図的にそういうふうにされているん 核家族で住んで、欧米化した生活 ただ、 卵」とかといわれて、 着実に進 農村と都市の分断で 根本にあ 、農村 るの からみ スタイルを んな

と運動として輪が広がりにくいんです。ビオサポをい ことをおもんぱかれとか、 うのはうちの造語なのですけれども、 ですが、 ているのは、 なことなのですが それから、 共同購入はどうあったらいいのか」というアプロ その個人個人に迫ろうとしてい 遊んでいるようなものなんです。 ビオサポ 「あなたの家族、あなた自身の健康 頭でっかちじゃないですか。これだ は、 もちろんそのこと自体は これは言い過ぎるとやば 持久力とか産 .るんです。 ビオサポ 小のため 大事 地 11 つ 0 1) W

始まった取り組みなんです。 もないとまずい こにあ 費材の何点セットで、こうつくって食べたらどうです こにあるある種考え方で、 生産者のことを大事にするのだけれども、それが根 うような提案も含めてやっているわけですが、 るのは、 余り関心がないんです。 んじゃないの、 個人に対する訴 、私は、 というようなところから 求力を強めるとい 料理の仕方だとか、 小さい声でいい ます うこと つ か H つ

全農との 関

ŧ クラムを組んでやるしかないし、具体的 攻撃もすさまじいし、 さんとは、 っているのは、大きくいえば二つです。 の注文などをいわれましたが、全農さんあるい いろいろ問題も感じなくはないですが、とにかくス 全農との連携対応みたい 協同組合間 これも小さい声でいいますけ 協同・連帯 の関係ですから、 な問題と、 な事業提携でや 基 本

ども、 え、 料用米では全部を賄えませんから、それはそれで組合員 約束しなければいけない。全農が悪いわけではないけれ すが、五年先まで遺伝子組み換えではない種子の てきていますから、 の大豆、 ップでやっていただいています。ただ、 ら、その調達については、全農さんは全面的なバックア ついては、 つは、自給で飼料用米は大事ですけ アメリカ産のデントコーンはゼロにはできませんか もう完全に足元を見透かされているような状 トウモロコシの作付面積がめちゃくちゃ 全農さんは本当に誠実に対応してくれていま して納得してもらってやる。 は 頭 が痛 そうなってくると、ことしも行きま いのですけれども、 遺伝 そして、そこに れども、 とはい 子組み換え 調 になっ とは

11

れども、 だ何だ、小さいことを含めていうとい ほかへ行ったらいっぱいありますよ。 か、そういう関係性として実際の提携関係があります。 においていうと全農さん抜きには考えられないとい つくってくれているんです。 青果センターの隣に、うち向けのピッキングセンター 一つということになります。 二つ目は、 継続的にでかい事業規模でやっているのはその 現状でいうと、埼玉県の戸田 だから、青果事業は、 ケチャップの原 っぱいありますけ の全農さん 現状 う 料 を 0)

それから、基本計画への注文ということを最後にいわるれないと、カカリやすくしてくれないと、やってられない――ただいっているのではなくて、年次計画でこうやるのただいっているのではなくて、年次計画でこうやるのただいっているのではなくて、年次計画でこうやるのだ、ああやるのだと丁寧な説明をしていただくのも含めた、ああやるのだと丁寧な説明をしていただくのも含めた、ああやるのだと丁寧な説明をしていただくのも含めた、ああやるのだと丁寧な説明をしていから、これだけ違れましたが、カロリーベースでもいから、これだけ違れましたが、カロリーベースでも、この辺で区別りをよった。

つけたいと思います。 ほかにも幾つかありますけれども、この辺で区切りを

堀口 ありがとうございました。

それでは、ご参加の方で、ご質問、確認をどうぞ。

アニマルウェルフェアと価格そして利便性

小林 幾つか確認をさせていただきたいと思います。
 小林 幾つか確認をさせていただきたいと思います。
 本はすごいチャレンジで、一○個のもは一個五○円になるんですね。ですから、従来のもののは一個五○円になるんですね。ですから、従来のもののは一個五○円になるんですね。ですから、従来のもののは一個五○円になるんですね。ですから、従来のもののは一個五○円になるんですね。ですから、従来のものの餌を使っており、違う点は、平飼いというところと、あとは何が違うんでしたか?

加藤 規格の個数が違うんです。

えていいのですか。 ケージ飼いではなくて、平飼いだというところだけと考る内容というのは、アニマルウェルフェアに依拠した、る内容というのは、アニマルウェルフェアに依拠した、

加藤 細かにいえばありますけれども、そのご理解で

言いすぎかもしれないですけれども、 り興味がないという調査結果になっています。 康とか家族の健康が大事であって、 ちょっとお話があったように、 アの関係でいうと、我々の調査によると、海外ではア 小 林 それはすごいチャレンジだとい 日本の消費者は 動 アニマルウェ 物の健康にはあま うのは、 ちょっと 自 分 先ほど ルフ の健

の勝算は 組合員のコンセンサスが得られているのでしょうか。 そこにチャレンジして二倍 前になってきている。 ì ルウェ それに対 ありやというところなのですけれども。 ルフェアに準拠 して何割増 一方、 日本ではそうなってい しで支払うというの した卵のほうが主 の価格で売るということは、 流 が当 になって な たり そ

いる組合員もいるけれども、そうではなくて、 続きするとは想定できないというのがありました。 1 は容易に理解できるという流れの中で、 その辺でいろいろ発言力を強めてこられるであろうこと おりで、 ッ ってみようかみたいな軽い sに向かって行く中で、とりわけ、 成り立っているの ずれ避けられない 加藤 クになっ 五〇円というお話がありましたけれども、 八個パックだっ それも難しいご質問ですね。 全体の消費量がふえたんです。ただ、これ コンセプトはアニマルウェルフェアで、 たから消 かと。 **豊しやすいということがあって、** かということでいえば、 たものが仮に五〇円でも、 ケージ飼 のりだったのですが。ただ、 EU諸国の皆さんは 1 おっしゃられると は、どうみても長 ある意味で、 成り立 組合の共感 一〇個 S D G 六個パ って がど Ó そ 18

小林 それはすごいチャレンジだと思っているんでさい。私もそれは今読み切れないので(笑声)。

こまで長続きするのですかという問い

は出さないでくだ

す。

加藤 二○一八年度まではチャレンジだったのですけれども、七か八の養鶏場があって、全部が全部それをでもるわけではないのですが、できるところについていえきるわけではないのですが、できるところについていえて中間総括というか、次をどう展望できるのかを考えよて中間総括というか、次をどう展望できるのかを考えよりという段取りにしています。

とで、 いうことはないんですね。 をもう少し いうのがやはりネックになっているというようなこと ました。 評価なのですが、 せていただいて、 生活クラブ生協の牛乳の消費が落ち込んでいるというこ 小林 一つの結論になりました。その辺は、 連合会の依頼で組合員に対してアンケート 利便性という意味でいうと、 利便性という意味でいうと、私は、一〇年 小さいものにするとかという対応はされ 利便性と価格は低いという結果になり そのときに、 味と安全性はすごく高い 九〇〇ミリ 例えば、 前 瓶と

供給は 九〇〇ミリの牛乳を単品でずっとやってきたわけです まだもってい れども、 ○をどうしようかというのは、 加 藤 しているのですが、 それを改良しようという具体的 学校給食で二〇〇の瓶があって、 ないです。 とにかく、 今おっしゃら 問題意識 七二度一 なプロ ではありま ħ それは た本命 Ħ. ログラ 萩 殺 九〇 す

干歯どめがかかったかなということです。ものを品目に加えて、もう泥沼状態だった供給状態に若が、低脂肪牛乳とノンホモの牛乳はサイズを小さくした

ではありますけれども らよくなっ のアイテムに加えてやったところ、工場経営だけはやた 塩尻の水を、 ペットボトルの容器を使うものはないのですけれども、 い批判もありましたが、長野県の塩尻で、うちとしては 工場経営もきつい。それで、しょうがないので、物 たのですが、今は三五億円なんです。 話になりますけれども、最大ピークで年間 って、きついといえばきつい。酪農家もきついけれども、 ずれにしても、 ちゃ 災害対策も含めてやって、それを牛乳工場 ったんです(笑声)。そんなことも余 うちの新生酪農というのは、 だから、 五二 率直 億円 金 すご 額 談 l 0 0

ょうか。 小林 牛乳については、生産者の問題も後でやりまし

ブレンドそして種の問題

ですが、豚肉の話もしましたよね。LDBで、バークシーの一が藤 当時、これは組合員から出た声ではなかったのしろくないと。それはどういうことなのですか。 いっぱい ごく単純な質問ですけれども、最初の段階でサ

み始めたのはそれがきっかけだったのです。ってみたらうまくいった。要するに、種の問題に入れ込て、生産者からするとばくちだったと思うのですが、やャー止め雄で、東京の専務は生産者にそういう提案をし

がまず一つなんです。 うのをおもしろく感じちゃった変なやつがいたというの 肉の話から始まって、ど素人が種の問題に口を出すとい 話になりますが。ですから、遺伝子組み換えの前で、 それは遺伝子組み換えは日本でいえば一九九六年 モンサントの種だって、そのようなものじゃない で、これはおもしろくないだろうと。 プという二つの品種で世界中のブロイラーの九○%以上 したけれども、 例えば、 ブロイラー、 ブロイラーでいえば、 採卵鶏の話もさせてい 遺伝子組み換えの チャンキーとコッ ただきま 苡 かと。

みたい そうは ういう歴史性なんです。 議論をまともに受けてくれたと。 サニシキが大分落ち目になって、コシヒカリが一人横綱 〇年以上、議論を重ねて、そうこうしているうちに、 たちで選んで食べるというのが正 かがなものかと。 それで、 いっても、 な状態になっていく傾向もある中で、産地もその ササコシ信仰のそんな米を食っているのは そんなに簡単にはできません 自分たちだけ納得した品 大ざっぱにいうと、 しい んじゃない 種 の米を自分 かと。 11

変なやつがいたということなのだと思います。に口を挟むのがおもしろくなっちゃったという、すごいとにかく、繰り返しになりますが、ど素人が種の問題

えてブレンドを考えたんじゃないんですか。 堀口 そのブレンド米というのは、生産者のことを考

成り立 です。 ということで。ただ、早生・中生・ がいいのかというの ませんから、 な組み合わせと、 れていて、 本的にはあれは晩生になりますから、 加藤 飼料用米がありますか もっ 理想でい 11 0 かない 可 ブレンドに移行したときはササニシキは 能性 と機 早生•中生• それはどういう組み合わせとどういう比 、えば、 ですよね はあるのです 械の共同化や労働 ただ、まずい米ではだれも買ってくれ をい 早生・中生で品 晩生で共同作業が成り立つよう ろ 26, いろ試行錯 が 飼料用米があの量 なかなか絵に の共同みたいなことが 晩生の問題でい 種構成をしていけ バランスは 誤しながらやっ 描い もう外 V) で、 くと、 V h 率

なっている。

配達の問題

なのは牛乳にしても何にしても、 私のところは クラブ だと思わ お 話 生協 を伺 0) n · つ にますが、 組合員ですが、 た中で、 低温殺菌だとか添加物 配 達問 番ぴ 題な V 0 ち たりし ば W ん厄 んです。 たの 介

> や保 急に来客があるとすぐに生鮮食材がなくなってしまうわ けですが、これを円滑に配達してもらう仕組みが けです。それで、 た場合は、もう食い上げになってしま みな日持ちが悪いわけです。 存 料 などを極力避けた安全な食品を頂い しばらくは何もなくなる状態が続 そんな中で、 、ます。 7 なくな 1 る くわ

しています。今、運転手さんの確保問題が深刻な状態にら配達問題がこれからシビアになってくるのかなと心配信頼して購入しているので、そうはいきません。ですかすが、添加物などをできるかぎり使わないということですが、添加物などをできるかぎり使わないということになりま

があれ とに とはあるのですか。生協がどうしたら広がるかというこ 他方で、クラブ生 ついて、 ば教えてほ 組合員の所得水準 じい 協 んです。 0) 組 合員 \dot{O} 0 所得 視点から分析したこと 水 が準を検討 たこ

加藤 分析まではいかないですけれども、調べてはい

目にし いるということは ことと安い ますよね。 たほうが その際に、 平成三〇年の歴史の中でも賃金は上が ものを買っているとい 11 悪いことなのかどうかという話 か 所 なと感じてい 得 /水準 -の 高 11 ます。 うことは 人が 組 賃 合 員に 結び 金水 準が を真 な つ

いなかったということが、今になっていわれているわけ

すが、 る仕組みで動いていていいのかという話です。 も日本人は金持ちだから買えるのだという議論 から入ってきて買えるのだけれども、いざというときで えると仮定した場合に、 そういう状態で、 いつまでたっても豊かな人だけがいいものを買え 本当に 今は安い農産物や食料品が外国 1 į١ ものは 豊 か な 人だけ がありま が買

1 まっている。 のことが、 て、実は向こう側にいる生産者を支えるという当たり前 と、安心でいいものを食べるということは結びついて 、ます。 、ます。 つまり、 ただ、 日本の場合には切れてしまっているように思 賃金を含めた所得水準が上がるということ その回路の構築が最大の問題だなと思って 買うか買わないという話だけになってし 11

用高としては、 なるものはないですよね。 ら議論 のですが、とはいえ、その であり得るとしたときの最大の問題はそこにいくと思う しまったとかという状況の中で、それでも圧倒的に全体 ○年代に生活クラブをつくった当時の組合員が、 加藤 したり検討したりは ですから、 もう子供もいないし、旦那も亡くなって 我 が生 ↑問題も二○年も三○年も前 結果論としていえば、 一協グループが してきてい 、ますが、 持 続 可 決め手に 能 亚. 一九七 な存 均 利 か 在

> は給を支えてくれているという構造ですよ。 中期的・長期的な観点からいくと、

0

5 か。 買うという頻度はどんどん下がって、 工食品ですよね。 いう話になりますよね。だから、年々ふえているのは ブでも、 自給的な話を中心にさせていただきましたが、 それと、 これはもうつぶやきでしかないですけれども。 結果的にどういうことが起きるかというと、 昔のように専業主婦なんてもうい 外に出て働いたりしている組合員が圧倒的 そこのあたりの問題もどうしたら 加工食品でいくと ないわけですか きょ うは [クラ 11 11 加

そんなことはないですかね 農民に腹が立 だと感じています。 す。こうした感覚がなかなか払拭できないことが問題と とが、今日まで農村にとっては常に目標だったわけで するのです。だから、農業と農民の立場から逃げ出 う感覚が日本人の心の底にあるんじゃないかという気が は何かというと、 いるわけですが、 谷口 私は今、 つみたいな人が 日本における農業と食料の最大の問題 栃木県の大規模な酪農経営を支援 農業や農民は貧 というのは、消費者の中には豊かな 結構多いんじゃ しくても いい ない のだとい けっこ じて

っていて、もともと中世から近代の初期にかけて、 谷口 加 \exists 消費者といってもい 1 口 ッパ の場合はそこのところがちょっ .ろいろで。

費者がみてしまって、農産物を「安くしろ」にすぐいっきっていて、農業者がある程度頑張っていくと、「あいが日本にはほとんどなかったという歴史を引きずってしか日本にはほとんどなかったという歴史を引きずってしまっていて、農業者がある程度頑張っていくと、「あいら、もうかって」みたいな感覚で都市住民、つまり消費者がみてしまって、農産物を「安くしろ」にすぐい。

てしまう。

能性がない だけれども、 なるじゃないですか。乗っている車も、 もしれませんが、立派な家を建てたり、そういうことに うに、再生産可能とか、そういう観点でつき合っていけ すがに私もわかりませんけれども、ご質問にもあったよ のだけれども、農村と都市の分離ですよね。その結果と たら意図的にやっているかもしれないという疑い るとおり、 それをみてムカッとくる人たちもいるかもしれません 加藤 いいのだという確信犯はどこまでいるかは、 て、今、先生がおっしゃられたように、農民は 例えば、 結果としてその分断という問題が仕組まれている可 根底にあるのは、それが為政者の側がもしか 意図しないまでも、そういう見方に、 かなと。 奥のほうに立派な車をもっているとか。 家の構えなんていうのは、 でも、 結果的には、 見えも含めてか 先生がおっし ふだんは軽トラ それはさ 対応に もある 貧しく ĩ p

なってしまうということはあり得ますよね。

飼料米とその域内供給

トン――この一万八一六トンというのは……。 小林 飼料用米の給餌の話で、一七万頭、一万八一六

加藤 これは平田牧場だけです。

遊佐の場合は四○○トンという数字がありまし

小林

米は、山形周辺の自給率は一万トンのうちのどのくらい栃木あたりから運んでくるものもありますよね。飼料用たが、庄内みどりとか、あの地域で生産されるものと、

加藤 自給率というのは、どういう……。

になるのですか。

小林 飼料用米の一番の問題というのは、前に平田に いな話があって……。

小林 それをまだやっているということですか。 小林 それをまだやっているということですか。

ってしまう。
・小林 飼料用米は、運賃だけで価格分になって加藤 いやいや、構造は一緒です。

加藤おっしゃるとおりです。

はできないのでしょうか。 小林 そこが問題で、山形でとれたものを山形で、例

陸のサイロをつくるということですよね。 いうことです。だから、餌米中心でいくのであれば にあるじゃないですか。あれはみんなアメリカを向 い飼料という餌屋さんがありますよね。みんな太平洋側 ゃられたところだと思うのです。例えば、 せるという幾つかある問題の一つは、 るのは厳しいんです。ただ、 アメリカのトウモロコシを口をあけて待っていると それはうちみたい なちっぽけな組 飼料用米を長期的に持続 **、** 今、 先生がお 織が単 東日本くみあ 独 つ でや 内 11

物流も、紙袋とかじゃなくて、ばらでどんどん物流を物流も、紙袋とかじゃなくて、ばらでどんどん物流をたら、そういうことを……。でも、これは民間の一組織でやれというのは難しいので、それこそ全農も含めてそでやれというのは難しいので、それこそ全農も含めてそでやれというのは難しいので、それこそ全農も含めてそだいなものを対応してくれなければできないですよね。ただ、おっしゃるとおりで、むだはむだなんですよの気になっている。本気でやるんだっかけられるような仕組みにするとか。本気でやる人どん物流をあれる太平洋側なんです。

ころで、それを単味としてどの程度砕く必要があるのかが林 例えば、餌米だけでも、遊佐なり平田があると

が、そういうやり方でないと餌米自体は無理だと思うのどうか。その辺も研究されていらっしゃると思うのです

谷口 採卵鶏の場合はちょっと下がる。

小林 豚でも、三割近く飼料米を利用しているという 小林 豚でも、三割近く飼料米を利用しているという 小林 豚でも、三割近く飼料米を利用しているという なごり、 は大きな課題ですが、ぜひ突破してい がきたいですね(笑声)。もし、地場での生産・消費 ただきたいですね(笑声)。もし、地場での生産・消費 にだきたいですね(笑声)。もし、地場での生産・消費 にだきたいですね(笑声)。

加藤 そのとおりだと思っています。物流・保管問題をどうするかというのは大変な問題で。本気でやるのでをどうするかというのは大変な問題で。本気でやるので

提携先である地域農業の展開

いうのがあって、五〇〇人だという話はさっきみていたりで、これは任意の部会なのですが、共同開発米部会と**加藤** うちの米関係の生産者グループ、**JA**庄内みど

気ですよ。 気ですよ。 貴をやらせないという内規になっていて、その連中は元 真をやらせないという内規になっていて、その連中は元 運営委員のような人たちは、とにかく若手じゃないと役 だいたと思いますけれども、率直にいって、その部会の

いうのは課題であることは間違いないですよね。いうのは課題であることは間違いないですよね。というのですが、いずれにしても、後継体制をどうするかといのですが、いずれにしても、後継体制をどうするかといのですが、いずれにしても、後継体制をどうするかといのですが、いずれにしても、後継体制をどうするかというのは課題であることは間違いないですよね。

はなくそうとする努力はしていますけれども。 加藤 ありますよ、それは。可能な限りそういうものとですか。

ということは、

耕作放棄地などもあるというこ

です。 谷口 地図をみて、見事にきちんと押さえているとこ

谷口 そう。養豚場があったところですね。

の卒業生が孫ターンですけれども砂丘のところに戻りま

経営大学校の校長をやっているのですが、うち

谷口メロンがある。

加藤 その辺の努力ももっともっとやらなければい新規就農の動きは随分あるんじゃないかなと。 堀口 そう。ハウスも含めて。だから、広い意味で

it

した。ありがとうございました。す。本当に中身のあるお話だったので大変勉強になります。本当に中身のあるお話だったので大変勉強になりました。それでは時間を過ぎましたので終わりにしまないんですけれども、ぼちぼちですよね。

た竹林で密生するだけでなく周囲の森林も飲み込むよう

森林総研研究成果報告

放置され拡大した竹林を転換するためのモウソウチクの駆除

元森林総合研究所関西支所 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 奥田

はじめに

種類になります。モウソウチクは地下部で地下 て中国から移入した種類の竹で竹類の中でも最も大型の るなどした結果、 奪われ、 ました。 することで生える範囲を拡大でき、一本一本の竹も高さ なってきました。 竹は昔から筍のように食料として重用されるだけでな 様々な農業資材の 人間生活の周辺域の山林などでは多く植栽されてき mを超えることもあるほど大型なため、 ところがここ数十年の間に筍は輸入品に市場を 資材はプラスチック製の代替品に置き換えられ 竹林の多くはモウソウチクとい 竹林は各地で利用されない放置 原材料としても有用であっ - 茎が伸長 うか 状態と たた

石

駆除、 ことが懸念されました。そのため、拡大する竹林を駆除 して適切な形の森林に戻すことが必要となり、 に拡大して竹林面積がどんどん拡大して森林が荒廃 転換技術に関して研究が進められることになりま 効率的な

モウソウチク竹の伐採による上層個体の除

した。

した。 所謂放置竹林では多くの本数の竹稈が密生する林分にな に関して実地 チクの伐採処理による駆除と自然植生への樹種転換技術 川県、 この研究は森林総研の他に放置竹林問題を抱えている モウソウチクが優占して長らく管理せずに放置された 森林総研関西支所では 大阪府、 試験を通して検証することになりました。 愛媛県、 島根県と共同して実施されま 大阪 府と連携してモウソウ

写真 1. 上層のモウソウチクを伐採した 直後



せん。

竹稈は

径

が

平 ま

Ŀ 直 ることも珍し

あ

の竹稈が生育

ŧ

5す。

放置

では

本

本

ク から

Z

ル

E

Ŧi.

ため 均で一 す を進める必要があ 以上あり枝葉も嵩 高さも平 (写真1)。 解 体しながら 均し cm 以 て 更 あ に 作 ŋ 張 Ŧī. り ŧ 業 る m

生の なくても対 去する際にも多大な労力が必要となります。 るため、 ĺ 大型 来ますが、 ・を利用 状態では重量が二〇 般的 の重機を併用することで作業効率を高め 伐採するだけでなく再生のために伐採個 処可 する程 な駆除方法になっています。 費用対効果の 能な点でモウソウチク林 度でも作 Ŏ ト 二業可 面 から人力で伐採に 能であ 以上にも達することがあ ŋ 0 処理 高 竹稈の い チ ることが スキ 体を除 エ 伐採 ては ル が

伐採後のモウソウチクの再生と処理

竹には大きく分けて株立ち状の種類と単稈が林立する

大きく成長する再生竹 写真2



います。

の地下茎は養

生えてくる構造になっ

いるため、

地

面

0

Ŀ な

見

L

分を蓄える構造に

つ

て地上

部

の稈がそこから

プは地下茎を張り巡ら

に属 す。

しますが

ō ĺ

A

1

種

類

1

ブ

あ

り

七 の二タ

ソウチク

を除 竹 優占度が異 に樹木が生えてきて成長するためには脅威となる再 達するため、 ることが出来ます。 の量がどのような条件で変わるのかを比較しまし を利用する上では有利 成長速度が大きく春先の一 の発生量は 再 の伐採頻 生竹の効率的 いてやることが不可欠になります。 へなる林 度 他の植物より圧倒的に成長が早く (六年間積算で) 分 毎 な処理を実施するため 年刈 モウ (放置竹林、 な立場を得ます り ソウチクなどの竹類 ヶ月程度で数 隔年 隔年刈りの方が毎年 木竹混 刈 9 (交林) É ~mから や伐採前 (写真2)。 再 は 生 袜 $\tilde{+}$ 短 で 芮 数 期 0) する竹 刈 竹 自 的 再 0 m 生 0 光

地下茎から新たなタケ えている稈を伐採

コを発生させて再

生さ

生再 六年経 年目に再生 交林 りを続けても がより 生 、て若 過 は 匆 長期 ても 量 干 0 毐 0) ピー です 生竹 苒 的 生 層 な がその 1の量 取 量 クがあり徐 の竹伐採後六年を経 は n なく 組 が多く、 差は 4 、ならず、 が か々に 小さい 必要なことが分かり 放置 減 ・です。 竹林 **XII** 少してい n 過 でする過 取 0 方が木 ŋ たも による でニ 竹 ま 0) 711 植 0) n 混

樹木 稚樹の成

期の 植物 でも主 を緩和してやれば徐々に樹高が大きくなり再生する ります。 は る個体はほとんどありません。 タラノ 主 パ **真**3)。 成 ても樹高 は 少なく、 キなどの樹種 長速 地 再生 表 、ウチクが圧 竹の 処 オニア 建区 面 度が大きく、 成立本数も ī にあっ 伐 竹を伐採時にすぐに萌芽などし 性樹 におい 以採に 一では平 てきた樹 · て競 !種が多く生えてきます。 た種子が発芽し 倒 よって一気に空間 的 均 木はア 合可 再生する竹の除去によ 竹伐採後六年 樹 優占する放置竹 ク 能になり g が六 オモジ、 そのため、] m ル て成長、 辺)ます。 自 達 は ŋ 0 P 明るく (する個) 再生 林で 力 時点で最 これ 7 X 大阪 する て成 は ガ つ な て競 6 ま 体 は ŧ 試 る ワ 樹 長 内 争 初 0 な 木 す 0)

明

利

用

可

能

か

待するため ました。 ナラやシ 兼 ね合い 元 で方法を選ぶことになります。 々 は 力 0 苗木 自 **|**然林 類 を植 0 再 0 裁す 樹 生 が 種 Ź 望 構 まれ 必 成 要があり からすると高 ます が これ 手間 木性 16 を 用 0)

期 コ

お わ ij

0

処理で を軽減 効性は 、まし 題とし を図る方法が 最も単 6 か た。 明らか になりました。 (するために除草剤などの資材を利用 効 ては、 果 上木の竹を除 的 に枯 に出来まし 再 検討され、 0) 殺と再 生竹 伐 採 薬剤の 0 刻り 生 去する必要はあるもの **IIX** 手 竹 n 利 また、 蕳 取 0 取りを経 崩 抑 は りによ は周 制を達 かか プ る 囲 年 口 で実 ŧ 7 成できることが ジ の状況に する方法 エ 0) 施す ク 0 林 <u>め</u> 1 実 0 る手 よって 実 施 度の ŧ 施 種 0

課

検討対 有 かれ う 来ること 示 か 力な手立て ます 判 つ 象に 断 が、 が が 分 明

以

上に達していて十分な数が確保できていると考えら



-49-

編集後記

る米朝首脳会談が行われました。また、三回目とな長と対面。、歴史∜をつくりました。また、三回目となほとして初めて北朝鮮に入境し、金正恩朝鮮労働党委員の大月三○日、トランプ米国大統領は板門店で現職大統

また、 除が実現せず交渉は停滞。 るトップニュースにしたかった。金委員長にとっては前 は来年秋の大統領選挙を念頭に、成果、が欲しかった。 いたところへの 回のハノイ会談が物別れに終わり、 したため実現との報道もあります。トランプ氏にとって 日で実現した異例の出来事ですが、 トランプ大統領のツイッターでの 時期が重なった民主党予備選挙の討論会を押さえ ″渡りに舟∜ その後の交渉の糸口を探って のツイッターだっ 期待してい 呼びかけからわずか 両者の思惑が一致 た制 たようで 裁解

ありません。 容や合意に向けたプロセスなどを事前に綿密にすり合わ せた上に行われるものと思うのですが、そうした気配が 角のようでどうも重々しさが感じられません。 それにしても、 首脳会談は本来、 鮮国 また、 血液で囲まれていますが、 両者の会談はいつも 会談の席が毎回 関係国の実務者同士が協 ずらりと並 **"一発勝負**% テーマパ 元だ星] 議内 のよ クの

た」をしてきた安倍政権をたださなければなりません。い=自分たちにとって都合の悪い問題が起こる度に「ふは、衆参ともに与党が三分の二を握る、安倍一強、下のは、衆参ともに与党が三分の二を握る、安倍一強、下のは、衆参ともに与党が三分の二を握る、安倍一強、下のは、衆参ともに与党が三分の二を握る、安倍一強、下のは、衆参ともに与党が三分の二を握る、安倍一強、下のは、衆参ともにある。

の受け取り拒否。これらのいい加減な姿勢を許してはなんで、改竄、加計学園の獣医学部新設をめぐる公文書について、財務省は安倍首相の妻昭恵氏や政治家名、「本件の特殊性」などの記載を削除し一部の文書は廃棄するなど、改竄、加計学園の獣医学部新設をめぐり「総理など、改竄、加計学園の獣医学部新設をめぐり「総理のご意向」と記された文部科学省文書の存在を認めないのご意向」と記された文部科学省文書の存在を認めないのご意向」と記された文部科学省文書の存在を認めないの言葉に表表を「破棄した」と回答(特別防衛監察が陸自などによるを「破棄した」と回答(特別防衛監察が陸自などによるを「破棄した」と回答(特別防衛監察が陸自などによるを「破棄した」と回答(特別防衛監察が陸自などによる。

に、そのようでは、日米貿易交渉での、合意、の公表や、暗い見通に、が示されることが濃厚な年金「財政検証」公表の参また、日米貿易交渉での、合意、の公表や、暗い見通

りません。

(花村)